

令和2年版

# 消 防 年 報

第16号

出 水 市 消 防 本 部

令和3年刊行

## はじめに

この年報は、出水市消防本部の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、併せて消防事情を広く一般に紹介するため編集したものです。

なお、各資料は、特記のない限り令和2年度又は令和元年1月1日から令和2年12月31日までの年間資料です。

令和3年9月

出水市消防本部

## 目 次

### 総 括

1. 出水市の概要	1
2. 出水市消防本部の設立	1
3. 面積・人口及び世帯数	1
4. 出水市消防本部管内図	2
5. 沿 革	4
6. 出水市消防本部組織図	2 1
7. 議会議員	2 2
8. 歴代消防長	2 2
9. 事務分掌	
(1) 消防本部	2 3
(2) 消防署	2 6
10. 消防庁舎の概要	2 9
(1) 本署平面図	3 0
(2) 分署平面図	3 1

### 消防財政

1. 令和2年度消防費決算額	3 2
2. 令和3年度消防費当初予算	3 3

### 人員及び機材

1. 消防職員の配置状況	3 4
2. 消防職員の階級別年齢調べ	3 5
3. 消防職員の勤続年数状況	3 5
4. 職員の教養実施状況	3 6
5. 職員資格取得調べ	3 7
6. 消 防 車 両	3 8
7. 特 殊 機 材	3 9

### 通信及び水利

1. 出水市消防通信系統図	4 1
2. 消防本部及び署の通信施設	4 3
3. 出水市消防団の通信施設	4 4
4. 地域別水利状況	4 5

予 防

1. 管轄区域別防火対象物	4 6
2. 防火管理者選任届出状況	4 7
3. 防火管理者資格取得講習会実施状況	4 8
4. 防火管理者上級講習会実施状況	4 8
5. 予防査察実施状況	4 9
6. 建築同意事務処理状況	
(1) 建築種別	5 0
(2) 用途別	5 1
7. 消防用設備等設置件数(棟)	5 2
8. 消防用設備等着工届出件数	5 3
9. 消防用設備等検査件数	5 4
1 0. 消防用設備等検査済証交付件数	5 5
1 1. 防火対象物使用開始届出件数	5 6
1 2. 各種届出処理件数	5 7
1 3. 数量別危険物施設数	5 8
1 4. 地域別危険物施設状況	5 9
1 5. 危険物施設に対する立入検査の状況	5 9
1 6. 危険物施設許認可事務処理状況	6 0
1 7. 月別危険物規制事務取扱状況	6 1
1 8. 危険物関係消防事務手数料徴収調べ	6 2

火 災

1. 火災統計グラフ	6 3
2. 火 災 概 況	6 4
3. 火災発生状況一覧表	6 5
4. 地域別火災発生件数と損害額	6 7
5. 火災種別発生件数と損害額	6 7
6. 原因別火災発生件数	6 8
7. 建築物用途別火災発生件数	6 8
8. 月別・時間別火災発生件数	6 9
9. 曜日別火災発生件数	7 0
1 0. 気象別火災発生件数	7 1

救 急

1. 年次別救急活動状況	7 2
2. 救急事故種別出場件数	7 3
3. 覚知別救急出場件数	7 3
4. 地域別救急出場件数	7 3
5. 月別救急事故件数	7 4
6. 時間別救急出場件数	7 5
7. 曜日別救急搬送人員調べ	7 6
8. 事故種別医療機関別搬送人員調べ	7 7
9. 年齢別事故種別搬送人員調べ	7 8
1 0. 傷病程度別搬送状況	7 9
1 1. ヘリ搬送運航状況	8 0

消防団・自衛消防隊・婦人防火クラブ・少年消防クラブ・幼年消防クラブ

1. 出水市消防団現勢	8 1
2. 消防団員の階級別配置状況	8 1
3. 消防団幹部一覧表	8 1
4. 消防団員の年齢	8 2
5. 消防団員の階級別在職年数	8 2
6. 消防団員の職業構成	8 3
7. 消防団員の年報酬	8 3
8. 消防団員の諸手当	8 3
9. 消防団の消防機材	
(1) 消防ポンプ自動車	8 4
(2) 小型動力ポンプ積載車	8 5
1 0. 自治会自衛消防隊	8 6
1 1. 婦人防火クラブ	8 7
1 2. 少年消防クラブ	8 7
1 3. 幼年消防クラブ	8 7

表 彰

1. 消防職員の被表彰状況	8 8
2. 消防団員の令和2年度表彰一覧表	8 9

# 総括

(令和3年度全国統一防火標語)

『おうち時間

家族で点検

火の始末』

## 1 出水市の概要

出水市は、鹿児島県の北西部に位置し、その面積は329.98平方キロメートルにして、東西への広がり約27キロメートル、南北の広がり約23キロメートルになり、人口52,765人（令和3.4.1現在）である。

陸の三方を阿久根市、薩摩川内市、さつま町、伊佐市及び熊本県水俣市に接し、北西は八代海（不知火海）に臨む。

本市は、北薩の秀峰紫尾山に抱かれ、不知火海をはさんで長島、天草の諸島を目前に冬は遠くシベリアからツル（国の特別天然記念物）が訪れる自然豊かな出水平野に広がる田園都市である。

## 2 出水市消防本部の設立

平成18年3月13日、旧出水市・旧高尾野町・旧野田町が合併したことに伴い、「出水地区消防組合消防本部」から「出水市消防本部」となる。

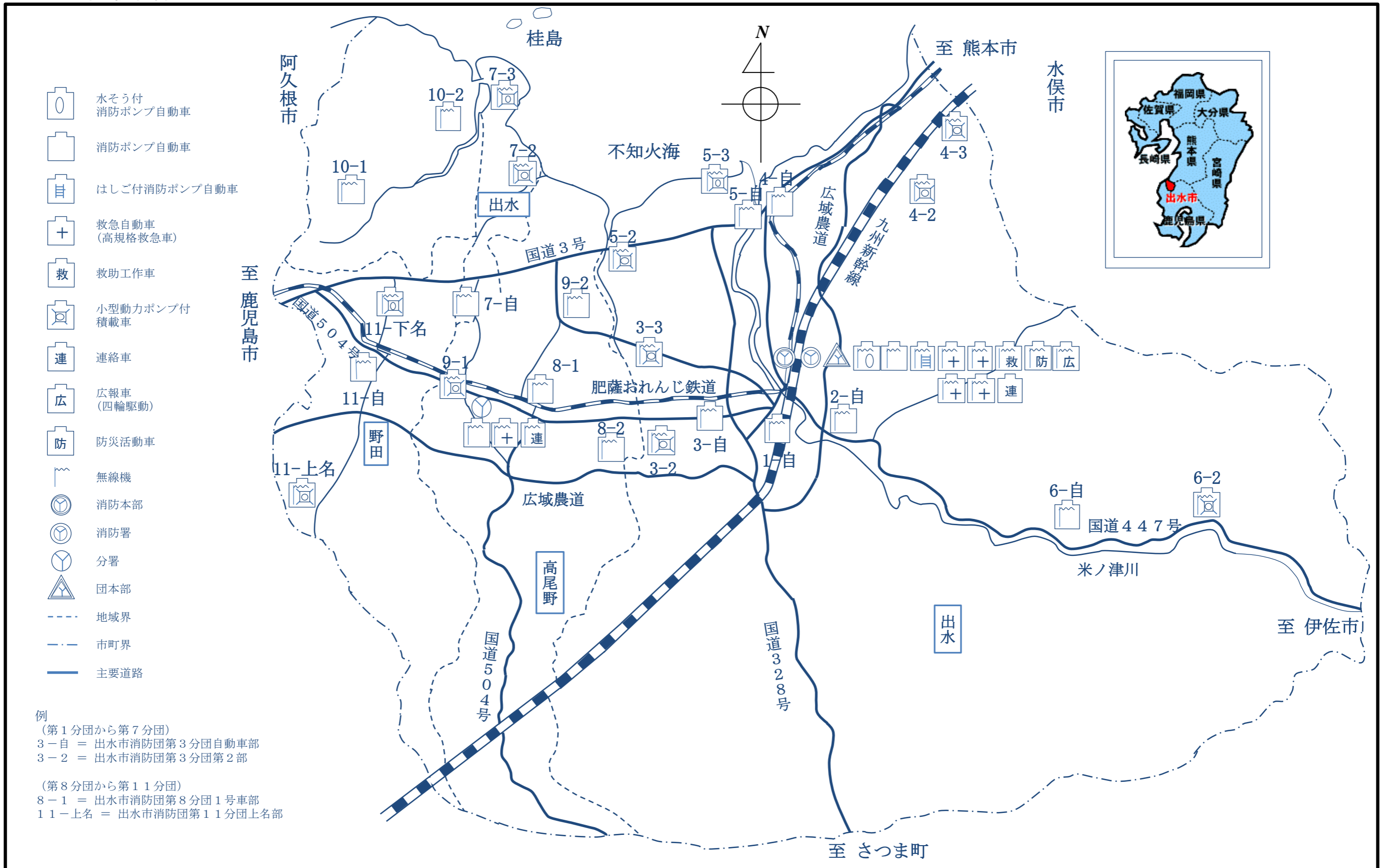
## 3 面積・人口及び世帯数

R3.4.1

出 水 市	面 積 (k m <sup>2</sup> )	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)
	329.98	52,765	25,504

4. 出水市消防本部管内図

R3. 4. 1現在





## 5 沿 革

### 昭和37年

- 4. 2 出水市消防署開署式  
辞令交付（4月1日は日曜日のため）  
市長 渋谷 透氏 消防長 田上 衍氏 消防署次長兼庶務係長 栢山 喜雄氏  
警防係長 松浦 達蔵氏、甲部に分隊長以下6人、乙部に分隊長以下6人の体制で  
消防長を含め実員13名  
前団長 井島 幸雄氏退団 新団長 金子 文一氏就任
- 4. 27 水槽付ポンプ自動車（銀河号）配置
- 5. 7 消防署庁舎竣工検査
- 5. 8 庁舎移転
- 7. 13 庁舎落成式
- 9. 14 署と水槽付ポンプ自動車に無線機取付
- 10. 26 促進会より風速計寄贈
- 10. 31 職員2人採用
- 11. 10 蕨島警鐘台落成

### 昭和38年

- 2. 1 辞令交付式 実員15人  
事務分掌制定
- 4. 1 消防署発足1周年記念パーティー
- 11. 6 県消防会館落成式
- 12. 26 出水市消防賞じゅつ金条例制定

### 昭和39年

- 1. 22 専売公社自衛消防隊出初式
- 12. 15 職員1人採用 実員16人

### 昭和40年

- 4. 1 消防団員定数345人に改正
- 8. 25 出水市消防署事務決裁規程公布
- 10. 13 第6分団運搬車貸与式

### 昭和41年

- 2. 16 消防ポンプ自動車（矢筈号）配置
- 4. 1 消防本部（署）
  - 水槽付消防ポンプ自動車 1台
  - 消防ポンプ自動車 1台
  - 赤バイ 1台
- 消防団
  - 消防ポンプ自動車 5台

可搬ポンプ積載車	1 台
可搬ポンプ	29 台
消防団員	
1 本部 7 分団	345 人
消防本部	
消防長 (署長)	1
次長 (庶務係長)	1
庶務係	3
警防係 (長)	9
予防係 (長)	9
計	25 人

- 7. 18 署に副分隊長制導入
- 9. 1 消防団操法競技大会 (於 製紙工場)
  - 優勝 自動車 第 2 分団
  - 可 搬 第 5 分団 (新蔵班)
- 10. 10 体育の日誕生

昭和 42 年

- 2. 10 仮眠室落成、訓授室新設
- 2. 11 建国記念日制定
- 2. 21 行政監査 「救急業務」
- 4. 1 署発足 5 周年、士長 2 人昇任、副分隊長となる
  - 司令長 1 司令 1 司令補 1 士長 4
  - 消防士 18 合計 25 人
- 4. 17 映画「同期のさくら」出水市内でロケ始まる
- 5. 1 消防長は市長 渋谷 透氏兼務となる
- 6. 30 署長 田上 衍氏退職
- 7. 1 署長心得に次長 栢山 喜雄氏就任
- 9. 24 第 7 分団自動車車庫落成 (荒崎)
- 10. 23 救急科第 1 期生 2 人入校
- 11. 13 救急隊編成
- 12. 15 救急車入庫検収、即日業務開始

昭和 43 年

- 1. 17 消防大学校研修科に栢山司令入校
- 2. 7 救急車無線機取付
- 2. 9 矢筈号に無線機取付
  - 自家用発電機取付
- 3. 7 自治体消防発足 20 周年記念全国消防大会に金子団長以下 10 人参加
  - 全国消防大会式典 (於 日本武道館)
  - 出水市 日消表彰旗 団消竿頭綬 受章

- 4. 1 消防団員定数 333 人に条例改正  
消防署実員 25 人
- 7. 20 消防本部所在地 出水市緑町 1 番地に変更

昭和 44 年

- 3. 4 市営球場開き プロ野球オープン戦 西鉄対広島
- 3. 5 農業気象観測 農林課より引継ぐ
- 3. 14 消防団無線機設置 10 基 団長 1 副団長 2 分団長 7
- 8. 21 運搬車貸与式 3 台 4-2 部、5-2 部、7-2 部
- 8. 28 5-2 部車庫完成
- 9. 1 署長に栢山 喜雄氏就任、次長に松浦 達蔵氏就任
- 9. 19 4-2 部車庫完成検査

昭和 45 年

- 3. 2 1 日消防署長（市婦人会長他 3 人）初めての試み
- 3. 9 救急業務 高尾野町との応援協定設立
- 5. 11 団長に宗像 末義氏、副団長に吉田 国義氏、田上 国志氏就任
- 6. 3 助役に消防長兼公室長 税所 重蔵氏就任
- 9. 12 消防長事務取扱に助役 税所 重蔵氏就任
- 10. 2 第 5 分団車庫落成
- 10. 7 運搬車貸与式 第 3 分団第 2 部・第 3 分団第 3 部
- 10. 14 第 3 分団第 2 部・第 3 分団第 3 部車庫落成式

昭和 46 年

- 7. 6 東町と救急業務応援協定締結
- 7. 30 出水警察署に消防無線貸与
- 8. 24 午後 3 時 59 分大井手井堰において水難事故発生  
戸崎 和弘消防士二次災害により逝去
- 8. 26 故戸崎司令補 密葬
- 8. 28 故戸崎司令補 市葬 於 出水公会堂
- 9. 22 消防職員 30 人に定数条例改正
- 10. 6 故戸崎司令補に出水市消防賞じゅつ金支給
- 10. 7 故戸崎司令補 勲七等青色桐葉章受章
- 10. 25 車庫（名古・田原）落成
- 11. 10 出水病院から潜水機材 2 組寄贈
- 12. 1 運搬車庫竣工検査（名古・田原）
- 12. 13 第 2 分団自動車部に 2 代目「わかあゆ」貸与式  
ホース乾燥台落成 田原・名古
- 12. 22 運搬車貸与式 2 台  
第 5 分団第 3 部（名古）  
第 6 分団第 3 部（田原）

昭和 47 年

- 1. 4 消防臨時職員辞令交付 3 人 実員 27 人
- 1. 14 職員 1 人退職、実員 26 人
- 1. 25 署庁舎仮眠室・事務室拡張工事着工
- 3. 31 第 5 分団自動車部に消防ポンプ自動車貸与式
- 4. 1 職員 3 人採用、実員 29 人  
野田村との救急業務応援協定締結  
消防署発足 10 周年  
消防署実員 30 人 消防団実員 312 人

昭和 48 年

- 3. 1 患者搬送車（トヨペット クラウンバン 2,000 cc）出水ライオンズクラブ寄贈
- 4. 2 庶務係に日勤 2 人配属 実員 32 人
- 4. 6 職員 6 人採用、実員 38 人
- 4. 24 職員 1 人退職、実員 37 人
- 8. 1 職員 5 人採用、実員 42 人
- 8. 28 スノーケル車（三菱ふそう 16m級）配置

昭和 49 年

- 4. 1 出水地区消防組合設立  
管理者職務執行者に出水市長 渋谷 透氏就任  
消防本部発足  
消防長事務取扱に助役 税所 重蔵氏就任  
本部次長兼署長に栢山 喜雄氏就任  
消防組合職員 27 人（出水市 13 人、高尾野町 9 人、野田町 5 人）採用  
出水市から 2 人の職員派遣  
職員定数条例が改正され、定数 67 人となる
- 4. 15 第 1 回出水地区消防組合議会開催  
管理者に出水市長 渋谷 透氏、副管理者に高尾野町長 川原 真蔵氏、野田町長 松ヶ角 友大郎氏、監査委員に若松 禎氏（学経）、四位 靖夫氏（議選）、議長に御幸 為喜氏、副議長に富吉 徳蔵氏選出
- 8. 15 消防組合職員 1 人退職
- 8. 31 出水市消防本部・署閉庁 職員は消防組合へ派遣 37 人
- 9. 1 出水地区消防組合業務開始  
1 本部 1 署 1 分署、定数 67 人 実員 65 人  
消防車両 7 台（水槽付消防ポンプ自動車 1 台、消防ポンプ車 2 台、スノーケル車 1 台、救急車 2 台、指令車 1 台）の陣容で業務開始
- 9. 11 消防長 税所 重蔵氏、出水市長選挙出馬のため退任、後任は本部次長 栢山 喜雄氏が職務代理
- 10. 31 管理者 渋谷 透氏 出水市長勇退により退任
- 11. 19 管理者に出水市長 税所 重蔵氏就任

- 議長に宗像 末義氏就任
12. 1 消防長事務取扱に市長 税所 重蔵氏就任  
本部次長兼署長 栢山 喜雄氏退職、後任に松浦 達蔵氏昇格、定数 67 人 実員 64 人
12. 14 職員 1 人退職、定数 67 人 実員 63 人
- 昭和 50 年
1. 18 救急車（トヨタ 2B）日本損害保険協会寄贈、分署に配置
1. 20 分署救急業務開始
2. 20 消防長事務取扱に出水市助役 田島 清俊氏就任
3. 27 分署に無線固定局（NEC 10W）設置
4. 1 野田村町制施行  
職員 2 人採用、定数 67 人 実員 65 人
4. 17 職員 1 人退職、定数 67 人 実員 64 人
5. 16 副管理者に高尾野町長 鳥丸 正登氏、副議長に松元 貞雄氏、監査委員（議選）に連尺野 繁氏就任
- 昭和 51 年
1. 19 阿久根地区消防組合と消防相互応援協定締結
3. 31 消防長事務取扱 田島 清俊氏退任
4. 1 専任消防長に出水市財政課長 浦崎 実氏就任、定数 67 人 実員 64 人
9. 1 本部次長兼署長 松浦 達蔵氏退職、定数 67 人 実員 63 人
11. 16 職員 1 人退職、定数 67 人 実員 62 人
11. 17 議長に山本 武充氏就任
12. 6 水槽付消防ポンプ自動車（銀河号：日野 II 型）更新購入、本署に配備
12. 9 救急車（トヨタ 2B）日本損害保険協会寄贈、本署に配備
- 昭和 52 年
1. 11 救助技術訓練塔竣工
3. 24 本署無線基地局（NEC 10W）更新設置
4. 1 職員 1 人退職、出水市役所へ 定数 67 人 実員 61 人
4. 29 元出水市消防本部消防長 田上 衍氏 春の叙勲で勲五等瑞宝章受章
6. 14 仮眠室にクーラー設置、本署 2 基、分署 1 基
9. 9 副管理者に野田町長 満武 勝夫氏就任
11. 13 患者輸送車（トヨペット クラウンバン 2,000 cc 移動式担架・人工蘇生器付）  
出水ライオンズクラブ寄贈、本署に配備
- 昭和 53 年
4. 1 職員定数条例が改正され、定数 69 人となる  
職員 4 人採用、定数 69 人 実員 65 人
4. 7 職員 1 人出水市から派遣、定数 69 人 実員 66 人
4. 13 出水ライオンズクラブに紺綬褒章が授与される（患者輸送車寄贈）
11. 17 議長に植木 龍男氏就任

昭和54年

- 4. 1 定数69人 実員66人
- 5. 1 本署分隊編成から小隊編成となる
- 5. 28 副議長に遠竹 昭知氏、監査委員（議選）に大迫 喜行氏就任
- 6. 30 消防長 浦崎 実氏退任、出水市水道課へ
- 7. 1 消防長に出水市企画課長 岩長 栄次氏就任  
本部次長兼署長に中野 宏氏就任
- 10. 2 救急車（トヨタ 2B）日本消防協会寄贈、本署に配備

昭和55年

- 4. 1 定数69人 実員66人
- 6. 27 事務連絡車（スズキ 軽ワゴン）購入、分署に配備
- 10. 14 大口市外三町消防組合と消防及び救急相互応援協定締結
- 11. 26 議長に門田 重人氏就任

昭和56年

- 1. 23 小型動力ポンプ（トーハツ C-1級）購入、本署に配備
- 4. 1 定数69人 実員66人
- 4. 12 職員1人退職、定数69人 実員65人
- 4. 13 職員1人採用、定数69人 実員66人
- 10. 27 消防ポンプ自動車（矢番号：日野 CD-II型）更新購入、本署に配備
- 11. 3 元出水市消防本部次長兼署長 松浦 達蔵氏 秋の叙勲で勲六等瑞宝章受章
- 12. 2 救急車（トヨタ 2B）日本損害保険協会寄贈、分署に配備

昭和57年

- 4. 1 禰答院地区消防組合、水俣芦北消防組合と消防及び救急相互応援協定締結  
定数69人 実員66人
- 6. 3 指令車（日産 セドリックバン2,000cc）更新購入、本署に配備
- 10. 29 消防ポンプ車（紫尾号：いすゞ CD-I型 ホースカー付）更新購入、分署に配備
- 11. 16 議長に山道 与市氏就任

昭和58年

- 3. 29 監査委員（学経）に中野 吉人氏就任
- 4. 1 定数69人 実員66人
- 5. 8 管理者 出水市長 税所 重蔵氏死去
- 5. 28 監査委員（議選）に大迫 喜行氏再任
- 5. 29 事務連絡車（スズキ 軽ワゴン）購入、本署に配備
- 6. 27 管理者に出水市長 溝上 巖氏就任
- 9. 30 消防長 岩長 栄次氏退任、出水市総務課へ
- 10. 1 消防長に出水市立病院事務長 有村 政輝氏就任

昭和59年

- 3. 5 救急車（トヨタ 2B）日本損害保険協会寄贈、本署に配備
- 4. 1 定数69人 実員66人

- 5. 22 広報車（日産 ブルーバード 1,500 cc）購入、本署に配備
- 11. 22 議長に武下 敬蔵氏就任
- 11. 22 マイクロバス（日産 キャラバン 2,000 cc）日本防火協会寄贈

昭和60年

- 1. 31 消防長 有村 政輝氏退任
- 2. 1 消防長に本部次長 中野 宏氏就任
- 3. 28 監査委員（学歴）に中野 吉人氏再任
- 4. 1 職員2人採用、定数69人 実員67人
- 5. 28 副議長に連尺野 繁氏就任、監査委員（議選）に大迫 喜行氏再任
- 10. 1 職員1人退職、高尾野町役場へ、定数69人 実員66人
- 11. 8 救助工作車（日野 CD型）購入、本署に配備
- 12. 1 川内地区消防組合と消防及び救急相互応援協定締結

昭和61年

- 4. 1 署長に今林 祐信氏就任  
職員3人採用、定数69人 実員69人
- 9. 30 職員3人退職、出水市役所へ2人、野田町役場へ1人 定数69人 実員66人
- 11. 21 議長に糸田 熊吉氏就任

昭和62年

- 1. 31 副管理者 野田町長 満武 勝夫氏死去
- 2. 19 収入役 奥村 正夫氏退任
- 2. 20 収入役職務代理者に出水市事務吏員 宮下 藤吉氏就任  
救急車（日産 2B）日本損害保険協会寄贈、本署に配備
- 3. 24 副管理者に野田町長 宇都 忠男氏就任  
監査委員（学経）に中野 吉人氏再任
- 4. 1 職員3人採用、定数69人 実員69人
- 5. 21 副管理者に高尾野町長 池田 正明氏就任  
副議長に尾野島 平氏就任、監査委員（議選）に大迫 喜行氏再任
- 7. 3 収入役に出水市収入役 矢原 勇氏就任
- 7. 7 管理者に出水市長 溝上 巖氏再任
- 9. 30 職員3人退職、出水市役所へ2人、高尾野町役場へ1人 定数69人 実員66人

昭和63年

- 4. 1 職員3人採用、定数69人 実員69人
- 9. 30 職員3人退職、出水市役所へ2人、高尾野町役場へ1人 定数69人 実員66人
- 10. 15 出水地区消防組合新庁舎起工式
- 11. 24 議長に山崎 一利氏就任

平成元年

- 1. 31 救急車（トヨタ 2B）株式会社大和から寄贈、本署に配備
- 3. 30 監査委員（学経）に中野 吉人氏再任
- 3. 31 職員1人退職、出水市役所へ 定数69人 実員65人

- 4. 1 職員 3 人採用、定数 69 人 実員 68 人
- 5. 29 副議長に山元 一夫氏就任、監査委員（議選）に大迫 喜行氏再任
- 6. 10 消防組合新庁舎 出水市緑町 50 番 2 号に新築落成
- 6. 11 新庁舎へ移転
- 6. 24 組合議員 岩下 則道氏死去
- 9. 4 職員 1 人退職、実員 67 人
- 9. 30 職員 2 人退職、高尾野町役場へ 1 人、野田町役場へ 1 人 実員 65 人
- 10. 1 消防本部を 2 課 4 係に、署を 4 係に機構改革
- 12. 13 訓練塔完成

平成 2 年

- 2. 1 消防通信指令台完成（消防緊急情報システム I 型）
- 3. 31 消防長 中野 宏氏を含め職員 2 人退職 実員 63 人
- 4. 1 消防長に出水市総務課長 大石 昇氏就任  
職員定数条例が改正され、定数 70 人となる  
職員 4 人採用、定数 70 人 実員 68 人
- 9. 30 職員 1 人退職、出水市役所へ 定数 70 人 実員 67 人
- 11. 21 議長に武下 敬蔵氏就任

平成 3 年

- 3. 26 監査委員（識見）に中野 吉人氏再任
- 3. 31 職員 1 人退職、定数 70 人 実員 66 人
- 4. 1 職員 3 人採用、定数 70 人 実員 69 人
- 5. 15 副管理者に高尾野町長 池田 正明氏、野田町長 小園 善行氏就任  
副議長に尾野島 平氏、監査委員（議選）に鹿子木 照美氏就任
- 7. 20 管理者に出水市長 矢野 克視氏就任
- 9. 30 職員 2 人退職、出水市役所へ 定数 70 人 実員 67 人

平成 4 年

- 1. 22 水槽付消防ポンプ自動車（銀河号：日野 II 型）更新購入、本署に配備
- 3. 31 次長兼署長 今林 祐信氏退職、定数 70 人 実員 66 人
- 4. 1 次長に富永 和寛氏、署長に阿部 昭雄氏就任  
職員 2 人採用、定数 70 人 実員 68 人
- 9. 30 職員 1 人退職、出水市役所へ 定数 70 人 実員 67 人
- 11. 26 議長に下田 敏氏就任
- 12. 14 はしご付消防ポンプ自動車（森田ポンプ 30 メートル級）購入、本署に配備

平成 5 年

- 3. 31 消防長 大石 昇氏退任、出水市市民福祉部へ
- 4. 1 消防長に出水市産業振興部長 前田 純夫氏就任  
定数 70 人 実員 67 人
- 6. 10 副議長に尾野島 平氏、監査委員（議選）に田中 義登氏就任
- 12. 6 職員 1 人退職、定数 70 人 実員 66 人



平成6年

- 3. 31 消防長 前田 純夫氏退職
- 4. 1 消防長に消防本部次長 富永 和寛氏就任  
職員2人採用、定数70人 実員67人
- 7. 4 監査委員（議選）に鹿子木 照美氏就任
- 8. 30 消防組合発足20周年記念式典
- 9. 30 査察広報車（トヨタ クラウンバン 2,000 cc）槁之浦 良文氏寄贈、本署に配備
- 11. 22 議長に上野 角三氏就任

平成7年

- 3. 13 救急車（トヨタ 2B）槁之浦 良文氏一部寄贈、分署に配備
- 3. 30 監査委員（識見）に中野 吉人氏再任
- 4. 1 定数70人 実員67人
- 6. 19 管理者に出水市長 矢野 克視氏、副管理者に高尾野町長 池田 正明氏、野田町長 小園 善行氏就任  
副議長に山門 康之氏、監査委員（議選）に鹿子木 照美氏就任
- 7. 21 収入役に出水市収入役 中満 勲氏就任
- 9. 7 救急車（トヨタ 2B）更新購入、本署に配備

平成8年

- 3. 31 消防長 富永 和寛氏退職、定数70人 実員66人
- 4. 1 消防長に本部次長 阿部 昭雄氏就任、本部次長に坂口 昭夫氏、署長に徳留 隆雄氏就任  
職員1人採用、定数70人 実員67人
- 6. 29 事務連絡車（スバル サンバーバン 660 cc）更新購入、分署に配備
- 11. 15 議長に野間口 岩見氏就任
- 12. 19 消防ポンプ自動車（矢管号：日野 CD-II型）更新購入、本署に配備

平成9年

- 1. 17 消防ポンプ自動車（紫尾号：いすゞ CD-I型）更新購入、分署に配備
- 3. 31 消防長 阿部 昭雄氏退職 定数70人 実員66人
- 4. 1 消防長に出水商業高等学校事務長 濱田 守邦氏就任 定数70人 実員67人
- 5. 12 副議長に山門 康之氏、監査委員（議選）に鹿子木 照美氏再任
- 7. 10 出水市針原地区土石流災害発生 21人死亡、負傷者13人、家屋倒壊19棟、半壊1棟、一部損壊2棟
- 11. 3 元出水地区消防組合 出水消防署長 今林 祐信氏 秋の叙勲で勲六等単光旭日章受章

平成10年

- 2. 27 高規格救急自動車（日産 パラメディックII 2,960 cc）購入、本署に配備
- 3. 31 総務課長 桂木 政利氏退職、定数70人 実員66人
- 4. 1 職員1人採用、定数70人 実員67人  
高規格救急自動車による高度救急業務開始
- 7. 28 広報車（日産 ダットサンピックアップ 4WD）更新購入、本署に配備

11. 20 議長に上野 角三氏就任
- 平成 11 年
3. 29 監査委員（識見）に中野 吉人氏再任
4. 1 定数 70 人 実員 67 人
6. 30 マイクロバス（トヨタ ハイエース 2,400 cc 15 人乗り）更新購入、本署に配備
7. 5 管理者に出水市長 渋谷 俊彦氏、副管理者に高尾野町長 平原 三男氏、野田町長 特手 貞雄氏就任、副議長に尾野島 平氏、監査委員（議選）に本城 利明氏、監査委員（識見）に通島 幸一氏就任
8. 12 収入役に出水市収入役 戸崎 節夫氏就任
- 平成 12 年
3. 31 消防長 濱田 守邦氏退任、出水市市民福祉部へ
4. 1 消防長に本部次長 坂口 昭夫氏、本部次長に徳留 隆雄氏、署長に武田 勲氏就任  
職員 1 人採用 定数 70 人 実員 67 人
5. 2 元出水地区消防組合職員 富永 登氏 春の叙勲で勲六等瑞宝章受章
6. 28 事務連絡車（ダイハツ 軽四輪貨物自動車）購入、本署に配備
11. 20 議長に税所 司氏就任
- 平成 13 年
4. 1 地球温暖化防止活動実行計画により活動開始（出水市、北薩広域行政事務組合、出水地区消防組合）  
定数 70 人 実員 67 人
5. 23 副議長に浦崎 義俊氏就任  
監査委員（議選）に堀口 文治氏就任
10. 22 石坂分署庁舎建設着工
11. 29 救助工作車（日野 II 型）更新購入、本署に配備
12. 10 通信指令装置の機器等搬入始まる
- 平成 14 年
1. 25 消防緊急通信指令施設（I 型）完成
2. 1 消防緊急通信指令施設（I 型）運用開始式
2. 4 職員 1 人死亡退職、定数 70 人 実員 66 人
3. 8 石坂分署庁舎完成
3. 11 石坂分署新庁舎業務開始
3. 29 石坂分署新庁舎落成式
3. 31 職員 2 人退職、定数 70 人 実員 64 人
4. 1 署長に出水市市民福祉部保育園園長 宮下 明雄氏就任  
職員 3 人採用、定数 70 人 実員 68 人
5. 20 はしご車オーバーホール（9 月 30 日まで）
11. 29 議長に大石 昇氏就任
- 平成 15 年
2. 28 高規格救急自動車（日産 パラメディック II 型 3,500 cc）購入、石坂分署に配備

- 3. 28 監査委員（識見）に上原口 茂氏就任
- 3. 28 石坂分署高規格救急自動車運用開始式
- 3. 31 消防長 坂口 昭夫氏退職、定数 70 人 実員 67 人
- 4. 1 消防長に本部次長 徳留 隆雄氏、本部次長に宮下 明雄氏就任  
職員 2 人採用、定数 70 人 実員 69 人  
石坂分署高規格救急自動車による高度救急業務開始  
潜水救助業務開始
- 7. 23 熊本県水俣市宝川内地区土石流災害による行方不明者捜索に潜水救助隊を含め延べ 44  
～25 人応援出動
- 7. 30 副議長に尾野島 平氏就任  
監査委員（議選）に川畑 寿昭氏就任

平成 16 年

- 3. 31 職員 3 人退職、実員 66 人
- 4. 1 消防長に本部次長 宮下 明雄氏、本部次長に内村 悟氏、署長に下島 重弘氏就任  
職員 1 人採用、定数 70 人 実員 67 人
- 11. 3 元消防長 中野 宏氏 秋の叙勲で瑞宝双光章受章
- 11. 24 議長に田頭 良成氏就任

平成 17 年

- 4. 1 職員 3 人採用、定数 70 人 実員 70 人  
分署分隊編成から小隊編成となる
- 5. 23 副議長に餅井 敏郎氏就任  
監査委員（議選）に上原 眞吉氏就任
- 8. 25 第 34 回全国消防救助技術大会がさいたま市（岩槻文化公園）において開催され、道添  
チーム（道添、林田、金丸）入賞

平成 18 年

- 3. 12 出水市、高尾野町及び野田町の廃置分合により、出水地区消防組合が解散となる。
- 3. 13 「新出水市」の誕生により、消防本部名が出水市消防本部に、消防署名が出水市出水消防署となる。  
職員定数条例が改正され、定数 75 人となる 定数 75 人 実員 71 人  
総務課が消防総務課となり、消防総務課に通信指令係、警防課に消防団係が新設され、職員 1 人が増員される。  
旧出水市消防団、旧高尾野町消防団及び旧野田町消防団が統合され、「新出水市消防団」が誕生、16 分団 29 部にて、団長兼出水地区団長に野間口 岩見氏、高尾野地区団長に尾野島 俊光氏、野田地区団長に上原口 茂氏、出水地区副団長に平井 勝也氏及び外良徳氏、高尾野地区副団長に坂木 良次氏、野田地区副団長に迫口 信幸氏就任  
定数 493 人 実員 488 人
- 4. 1 団長兼出水地区団長に平井 勝也氏、高尾野地区団長に尾野島 俊光氏、野田地区団長に上原口 茂氏、出水地区副団長に外 良徳氏及び安田 悟氏、高尾野地区副団長に坂木 良次氏、野田地区副団長に迫口 信幸氏就任

定数 493 人 実員 488 人

7. 22 県北部豪雨災害発生  
～23 米ノ津川の春日橋下流右岸などが越水し、栄町地区から六月田地区の 287ha、1,300 戸が浸水被害、死傷者なし。  
野田川も増水のため堤防がえぐれ、橋の一部が流出。
11. 3 元出水地区消防組合出水消防署長 武田 勲氏 第 7 回危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章受章

#### 平成 19 年

3. 7 出水市消防団高尾野第 6 分団に消防ポンプ自動車（三菱 4,070 cc）を更新配備  
3. 13 高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 2,690 cc）購入、本署に配備  
3. 31 職員 3 人退職、定数 75 人 実員 68 人  
4. 1 次長兼出水消防署長に内村 悟氏就任  
職員 4 人採用、定数 75 人 実員 72 人  
出水市消防団は地区団制を廃止し、13 分団 29 部に再編される。  
団長に平井 勝也氏、副団長に安田 悟氏、外 良徳氏、尾野島 俊光氏、迫口 信幸氏、坂木 良次氏（本部付き）がそれぞれ就任  
定数 493 人 実員 489 人
4. 29 元出水地区消防組合消防長 阿部 昭雄氏 第 8 回危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章受章
5. 1 女性職員 1 人、出水市役所へ 定数 75 人 実員 72 人  
女性臨時職員 1 人採用
9. 11 第 12 分団青木部に小型動力ポンプを更新配備
10. 25 第 18 回全国女性消防操法大会（場所 横浜市消防訓練センター）に出水市女性消防隊が鹿児島県代表として出場し準優勝

#### 平成 20 年

3. 6 出水市消防団第 2 分団詰所完成  
3. 21 出水市消防団第 3 分団自動車部に消防ポンプ自動車を更新配備  
3. 31 消防長 宮下 明雄氏を含め職員 6 人退職、定数 75 人 実員 66 人  
4. 1 消防長に次長兼署長 内村 悟氏、次長兼消防総務課長に千々岩 洋一氏、警防課長兼署長に本村 厚志氏就任  
職員 5 人採用 定数 75 人 実員 71 人
5. 9 元出水地区消防組合消防長 富永 和寛氏 第 10 回危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章受章
5. 20 鹿児島県総合防災訓練が 61 参加団体のもと、出水市（米ノ津川河川敷及び出水市総合運動公園）において実施される
6. 6 はしご車オーバーホール（9 月 26 日まで）
8. 29 第 37 回全国消防救助技術大会が福岡県北九州市（北九州市立勝山公園）において開催され、ほふく救出の部に出場した道添チーム（道添、吉富、中原）は 52 チーム中第 3 位の成績で入賞する

平成 21 年

- 3. 31 消防長 内村 悟氏を含め職員 3 人退職、定数 75 人 実員 68 人  
女性臨時職員退職
- 4. 1 消防長に次長兼消防総務課長 千々岩 洋一氏、次長兼署長に本村 厚志氏就任  
職員 5 人採用、定数 75 人 実員 73 人
- 4. 29 元出水地区消防組合消防長 坂口 昭夫氏 第 12 回危険業務従事者叙勲で瑞宝双光章  
受賞
- 7. 1 出水市消防団に女性消防団員 7 人入団
- 12. 18 水槽付消防ポンプ自動車（銀河号：日野 II 型 キャブ付）更新購入、本署に配備

平成 22 年

- 2. 10 高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 2,690 cc）更新購入、本署に配備
- 3. 30 出水市消防団第 13 分団下名部詰所完成
- 3. 31 石坂分署長 島崎 伸一氏を含め職員 2 人退職、定数 75 人 実員 71 人
- 4. 1 次長兼消防総務課長に本村 厚志氏、出水消防署長に福本 悟氏就任  
職員 4 人採用、定数 75 人 実員 75 人
- 4. 29 元出水地区消防組合総務課長 桂木 政利氏 第 14 回危険業務従事者叙勲、元出水市  
消防団副団長 玉利 和敏氏 春の叙勲において瑞宝単光章受章
- 7. 4 出水支部消防ポンプ操法大会、県大会は宮崎県で口蹄疫発生のため中止
- 11. 3 元出水地区消防組合消防長 徳留 隆雄氏 第 15 回危険業務従事者叙勲で瑞宝双光章  
受章

平成 23 年

- 1. 9 出水市で鳥インフルエンザ発生、消防出初め式を式典のみに縮小
- 3. 11 宮城県沖を震源とするマグニチュード 9.0、震度 7 の東北地方太平洋沖地震が発生。大  
地震とその後沿岸を襲った大津波で 15,500 人を超える死者と 7,000 人以上の行方不明  
者を出し、甚大な人的、物的被害をもたらす未曾有の大災害となった
- 3. 14 緊急消防援助隊として鹿児島県から出動要請があり、本市消防隊員 8 人を含む 108 人  
の鹿児島県隊が出動し、陸路を 3 日かけて宮城県石巻市に到着し、21 日まで行方不明  
者の捜索活動を行った
- 3. 31 署長 福本 悟氏を含め職員 3 人退職、定数 75 人 実員 72 人
- 4. 1 署長に黒木 義一氏就任、人事異動により 1 人市役所へ出向  
職員 3 人採用、定数 75 人 実員 74 人  
通信指令室専従の試行開始
- 4. 29 元出水地区消防組合予防課長 本藏 保氏 第 16 回危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章  
受章
- 10. 26 東日本大震災において緊急消防援助隊を出動させた消防本部として全国消防長会長か  
ら消防活動功労者表彰を受賞
- 11. 3 元出水地区消防組合石坂分署長 吉田 剛一郎氏 第 17 回危険業務従事者叙勲で瑞宝  
単光章受章

11. 9 東日本大震災において緊急消防援助隊を出動させた消防本部として総務大臣表彰を受賞

平成24年

3. 15 消防ポンプ自動車(紫尾号:日野 CD-I型 キャブ付)更新購入、分署に配備  
3. 31 消防長 千々岩 洋一氏を含め職員2人退職、定数75人 実員72人  
4. 1 消防長に次長 本村 厚志氏、次長に原 次雄氏、警防課長兼署長に緒方 徹氏就任  
職員3人採用、定数75人 実員75人  
6. 7 第6分団第2部に小型動力ポンプを更新配備

平成25年

2. 27 第8分団1号車部に消防ポンプ自動車更新配備  
3. 22 消防ポンプ自動車(矢筈号:日野 CD-II型)更新購入、本署に配備  
3. 31 石坂分署長 竹内 茂幸氏を含め職員3人退職  
定数75人 実員72人  
4. 1 次長に井出口 司郎氏、警防課長兼署長に山口 義彦氏、消防総務課長に出水市農林水産課長 本田 秀昭氏就任  
職員3人採用 定数75人 実員75人  
4. 29 元出水市消防本部消防長 内村 悟氏 第20回危険業務従事者叙勲で瑞宝双光章受章、春の叙勲において、元出水市消防団長 野間口 岩見氏 旭日双光章受章、元高尾野町消防団 団長 片川 二安氏 瑞宝単光章受章  
5. 22 はしご車オーバーホール(9月30日まで)  
6. 28 第7分団第2部に小型動力ポンプを更新配備  
12. 31 職員1人退職、定数75人 実員74人

平成26年

2. 13 消防緊急通信指令施設更新に伴う仮運用開始  
3. 4 消防緊急通信指令施設更新  
第6分団自動車部、第10分団1号車部に消防ポンプ自動車更新配備  
3. 11 消防緊急通信指令施設運用開始式  
出水市長 渋谷 俊彦氏、市議会議長 外 徳男氏、総務病院委員長 税所 司氏、富士通ゼネラル田中 勝浩氏、出水市消防団長 平井 勝也氏ほか出席  
3. 31 消防長 本村 厚志氏を含め3人退職  
定数75人 実員71人  
4. 1 消防長に次長 井出口 司郎氏、次長に出水市安全安心推進室長 原田 公司氏、出水消防署長に山下 幸男氏就任、人事異動により1人市役所へ出向  
職員3人採用 定数75人 実員73人  
4. 29 元出水市消防本部予防課長 楠元 正夫氏 第22回危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章受章  
5. 13 訓練塔梯子取り替え補修

- 5. 30 第 37 回鹿児島県消防救助技術指導会が鹿児島県消防学校（日置市）において開催され、「ほふく救出」の部で、古田チームが第 1 位となり 8 月の全国消防救助技術大会出場を決める
- 8. 22 広島県広島市で発生した土石流災害の発生に伴い、千葉県消防学校で開催予定であった第 43 回全国消防救助技術大会の中止が決定
- 8. 25 第 13 分団下名部、第 13 分団餅井部に小型動力ポンプを更新配備
- 10. 29 第 7 分団自動車部に消防ポンプ自動車更新配備

平成 27 年

- 2. 10 高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 2,690 cc）更新購入、分署に配備
- 2. 19 消防救急デジタル無線配備に伴う仮運用開始
- 3. 19 消防救急デジタル無線運用開始
- 3. 31 予防課長 石川 義則氏を含め 3 人退職  
定数 75 人 実員 70 人
- 4. 1 警防課長兼署長に永池 利美氏就任  
職員 4 人採用 定数 75 人 実員 74 人
- 4. 5 消防救急デジタル無線運用記念式  
渋谷 俊彦市長、道上 正己議会議長、本城 利明総務病院委員長、富士通ゼネラル田中 勝浩氏、平井 勝也団長等出席
- 5. 1 元出水市消防本部石坂分署長 前田 勝巳氏 第 24 回危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章受章
- 5. 29 午前 9 時 59 分、鹿児島県屋久島町口之永良部島の新岳（標高 626 メートル）で噴火、島民 137 人は、防災ヘリ、フェリー、海上保安庁の巡視船等で無事避難
- 7. 24 第 44 回九州地区消防救助技術指導会が福岡県北九州市（北九州市消防訓練研修センター）において開催され、小島チーム（小島、花園、川崎、東）が出場
- 7. 28 出水市消防団第 3 分団第 2 部、第 12 分団上名部に小型動力ポンプを更新配備
- 10. 19 出水市消防団第 8 分団 2 号車部に消防ポンプ自動車更新配備
- 12. 18 査察広報車（トヨタ クラウンバン 2,000 cc）を日本消防協会から出水市消防団に交付された防災活動車（三菱 デリカ 2.35ℓ）に更新、消防本部に配備

平成 28 年

- 1. 17 (株)ヒラヤマ（高尾野町上水流 1063-1）上水流第一リサイクル処理場において、第一処分場破碎室と破碎機及び隣接する場所に山積みにしてあった廃材（木屑）が燃焼する火災が発生、消防署から 10 台 43 人、消防団から 12 台 174 人出動、消防署発足以来の約 17 時間におよぶ消火活動であった
- 3. 31 消防長 井出口 司郎氏を含め 6 人退職、定数 75 人 実員 68 人
- 4. 1 消防長に次長 原田 公司氏、次長兼消防総務課長に大平 伸章氏、警防課長兼署長に川曲 徹氏就任、人事異動により 1 人市役所へ出向  
職員 6 人採用 定数 75 人 実員 74 人

- 4. 14 熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード 6.5、震度 7 の熊本地震(前震)が発生  
当市は震度 3、周辺市町村震度 4 を観測  
鹿児島県から緊急消防援助隊鹿児島県大隊統合機動部隊(13 隊 51 名)を派遣、九州自動車道が地震による通行止めのため、当消防本部が集結場所となる
- 4. 16 熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード 7.3、震度 7 の熊本地震(本震)が発生  
当市は震度 4、長島町で震度 5 弱を観測  
鹿児島県から当消防本部の救急隊 1 隊 3 名に出動要請。緊急消防援助隊鹿児島県大隊第 2 次派遣隊として出動し、第 3 次、第 4 次派遣を行い、同月 26 日まで被災地で活動、当消防本部 9 人を含む計 106 隊 384 人が鹿児島県大隊として派遣された
- 4. 26 平成 28 年 4 月 14 日に発生した平成 28 年熊本地震に伴い、第 45 回九州地区消防救助技術指導及び第 39 回鹿児島県消防救助技術指導会の中止が決定する
- 4. 29 元出水市消防本部出水消防署長 下島 重弘氏 第 26 回危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章受章
- 7. 28 出水市消防団第 3 分団第 3 部、第 4 分団第 2 部及び第 5 分団第 3 部に小型動力ポンプを更新配備
- 11. 25 連絡車(ダイハツ ハイゼットカーゴ 0.65ℓ)及び積載用小型動力ポンプ(シバウラ C-1 級)を更新購入、分署に配備

平成 29 年

- 3. 31 平井 勝也団長及び福丸 逸郎副団長退団
- 4. 1 団長に尾野島 俊光氏、副団長に坂木 良次氏及び平井 浩二氏就任  
定数 493 人 実員 491 人  
人事異動により 1 人鹿児島県消防学校へ派遣教官として出向  
定数 75 人 実員 73 人
- 8. 23 第 46 回全国消防救助技術大会が宮城県宮城郡利府町(グランディ・21)において開催され、宮下チーム(宮下、太平翔、川口)入賞
- 8. 28 出水市消防団第 4 分団第 3 部及び第 5 分団第 2 部に小型動力ポンプを更新配備
- 11. 17 職員 1 人死亡退職、定数 75 人 実員 72 人

平成 30 年

- 1. 30 出水市消防団第 9 分団第 1 号車部の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ積載車に更新配備
- 1. 31 高規格救急自動車(トヨタ ハイメディック 2,690 cc)更新購入、本署に配備
- 3. 31 石坂分署長 松原 広海氏を含め 3 人退職、定数 75 人 実員 69 人
- 4. 1 市役所へ出向していた 1 人が帰任  
職員 3 人採用、定数 75 人 実員 73 人
- 12. 7 出水市消防団第 6 分団第 3 部及び第 7 分団第 3 部に小型動力ポンプを更新配備

平成 31 年

- 3. 29 はしご付消防ポンプ自動車(日野 地上高 35m 8,860 cc)更新購入、本署に配備  
出水市消防団第 9 分団 2 号車部に消防ポンプ自動車を更新配備
- 3. 31 職員 1 人退職、定数 75 人 実員 72 人



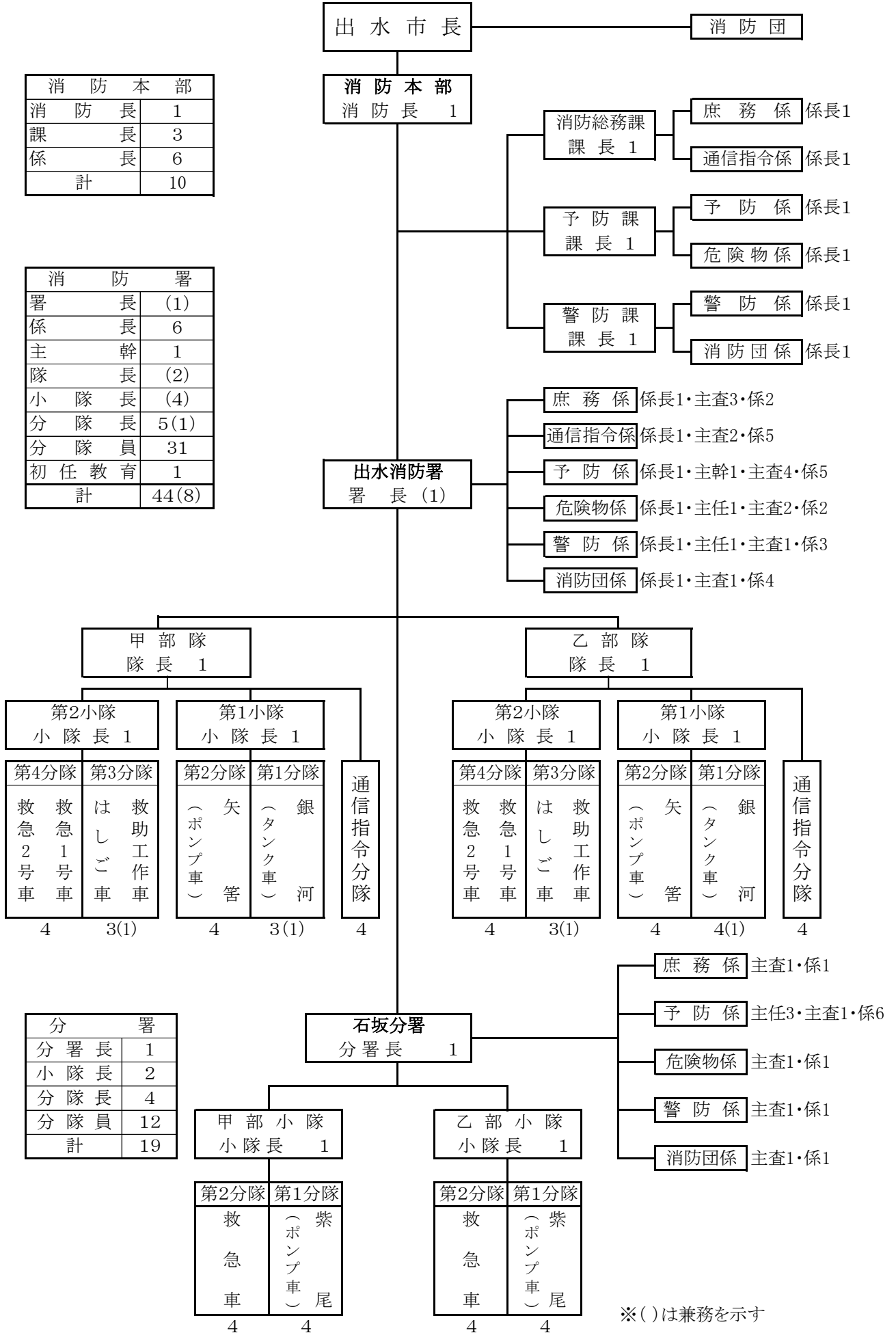
- 4. 1 職員 1 人採用、定数 75 人 実員 73 人  
三者間同時通訳通話システム業務運用開始  
消防法令における違反対象物の公表制度 条例施行
  - 4. 16 はしご付消防ポンプ自動車運用開始式
  - 7. 18 京都府 京都アニメーション放火事件  
死者 36 人 負傷者 34 人
  - 9. 30 職員 1 人退職、定員 75 人 実員 72 人
  - 10. 1 火を使用する設備又は器具を設けた小規模飲食店に消火器の設置が義務化
  - 10. 8 消防団協力事業所表示証交付式  
新規事業所 4 事業所 計 46 事業所
  - 10. 31 消防法令における違反対象物の公表制度  
公表対象物数 5 件
  - 12. 19 消防指令業務の共同化に係る消防長報告会
- 令和 2 年
- 3. 24 出水市消防団第 4 分団自動車部に消防ポンプ自動車更新配備
  - 3. 31 職員 2 人退職、定員 75 人 実員 70 人
  - 3. 31 野口婦人防火クラブ解散
  - 4. 1 消防長に大平 伸章氏、消防総務課長に橋上 洋一氏、予防課長に吉岡 公生氏、  
分署長に戸崎 博貴氏就任  
人事異動により派遣教官として鹿児島県消防学校に出向していた 1 人が帰任  
職員 2 人採用、定数 75 人 実員 73 人
  - 12. 23 救助工作車運用開始式

# 6 出水市消防本部組織図

令和3年4月1日現在

消防本部	
消防長	1
課長	3
係長	6
計	10

消防署	
署長	(1)
係長	6
主幹	1
隊長	(2)
小隊長	(4)
分隊長	5(1)
分隊員	31
初任教育	1
計	44(8)



※( )は兼務を示す

## 7 議会議員(総務病院委員会)

R3. 4. 1

役 職	氏 名
委 員 長	栞 山 卓 二
副 委 員 長	日 高 信 一
委 員	上 須 田 清
〃	田 上 真 由 美
〃	杉 本 尚 喜
〃	鶴 田 悌 次 郎
〃	榎 園 隆

## 8 歴代消防長

R3. 4. 1

代	氏 名	期 間	摘 要
初・2	田 上 衍	S37. 4. 1 ~ S42. 4. 30	兼 任 署長
3	渋谷 透	S42. 5. 1 ~ S45. 6. 2	兼 任 出水市長
4	税 所 重 蔵	S45. 6. 3 ~ S50. 2. 19	兼 任 出水市助役
5	田 島 清 俊	S50. 2. 20 ~ S51. 3. 31	兼 任 出水市助役
6	浦 崎 実	S51. 4. 1 ~ S54. 6. 30	専 任 前出水市財政課長
7	岩 長 栄 次	S54. 7. 1 ~ S58. 9. 30	専 任 前出水市企画課長
8	有 村 政 輝	S58. 10. 1 ~ S60. 1. 31	専 任 前出水市立病院事務長
9	中 野 宏	S60. 2. 1 ~ H 2. 3. 31	専 任 前本部次長
10	大 石 昇	H 2. 4. 1 ~ H 5. 3. 31	専 任 前出水市総務課長
11	前 田 純 夫	H 5. 4. 1 ~ H 6. 3. 31	専 任 前出水市産業振興部長
12	富 永 和 寛	H 6. 4. 1 ~ H 8. 3. 31	専 任 前本部次長
13	阿 部 昭 雄	H 8. 4. 1 ~ H 9. 3. 31	専 任 前本部次長
14	濱 田 守 邦	H 9. 4. 1 ~ H12. 3. 31	専 任 前出水商業高等学校事務長
15	坂 口 昭 夫	H12. 4. 1 ~ H15. 3. 31	専 任 前本部次長
16	徳 留 隆 雄	H15. 4. 1 ~ H16. 3. 31	専 任 前本部次長
17	宮 下 明 雄	H16. 4. 1 ~ H20. 3. 31	専 任 前本部次長
18	内 村 悟	H20. 4. 1 ~ H21. 3. 31	専 任 前本部次長兼出水消防署長
19	千々岩 洋 一	H21. 4. 1 ~ H24. 3. 31	専 任 前本部次長兼消防総務課長
20	本 村 厚 志	H24. 4. 1 ~ H26. 3. 31	専 任 前本部次長
21	井 出 口 司 郎	H26. 4. 1 ~ H28. 3. 31	専 任 前本部次長
22	原 田 公 司	H28. 4. 1 ~ R 2. 3. 31	専 任 前本部次長
23	大 平 伸 章	R 2. 4. 1 ~	専 任 前本部次長兼消防総務課長

## 9 事務分掌

### (1) 消防本部

#### 課共通事務

- (1) 所掌事務の企画立案及び実施に関すること。
- (2) 所掌事務についての条例、規則、訓令等の制定改廃に係る発案に関すること。
- (3) 所掌事務についての議会に提出すべき議案の発案に関すること。
- (4) 所掌事務についての文書の整理に関すること。
- (5) 所掌事務に係る契約に関すること。
- (6) 使用中の物品の保管管理に関すること。
- (7) その他消防長が必要と認めて命じたこと。

### 消防総務課

#### 庶務係

- (1) 本部内の実施計画事業の調整（事業調整及び進行管理）に関すること。
- (2) 本部内の予算経理の調整（予算調整及び進行管理）に関すること。
- (3) 本部内の事務の連絡調整に関すること。
- (4) 本部の組織、制度及び職務権限に関すること。
- (5) 消防職員の任免、服務、分限、懲戒その他身分に関すること。
- (6) 公印の保管に関すること。
- (7) 消防関係例規の制定、改廃に関すること。
- (8) 消防職員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
- (9) 消防職員の研修に関すること。
- (10) 消防職員の勤務成績の評定に関すること。
- (11) 消防職員の褒章及び表彰に関すること。
- (12) 消防年報に関すること。
- (13) 消防統計及び広報に関すること。
- (14) 消防行政の企画及び総合調整に関すること。
- (15) 消防職員委員会に関すること。
- (16) 消防職員の人事に関すること。
- (17) 消防職員の貸与被服及び貸与物品に関すること。
- (18) 常備消防予算の編成及び執行に関すること。
- (19) その他庶務事務及び他課の所管に属しない事項

#### 通信指令係

- (1) 水火災その他の災害及び救急業務に係る受報及び出動指令に関すること。
- (2) 消防隊の統制的指揮運用及び応援要請に関すること。
- (3) 電話交換業務に関すること。
- (4) 消防通信の計画、配置、運用及び改善並びに消防通信施設の維持管理に関すること。
- (5) 通信勤務員の通信技術の訓練及び指導に関すること。
- (6) 気象情報その他消防気象に関すること。
- (7) 火災警報に関すること。
- (8) 各種警報、情報及び非常招集の伝達に関すること。
- (9) 消防資料の入出力に関すること。
- (10) その他通信指令業務に関すること。

#### 予防課

##### 予防係

- (1) 災害予防知識の普及及び啓発に関すること。
- (2) 火災予防査察に関すること。
- (3) 建築同意事務に関すること。
- (4) 消防用設備等の設置に関する指導及び規制に関すること。
- (5) 出水市火災予防条例（平成18年出水市条例第175号）に基づく諸届認可等に関する  
こと。
- (6) 防火管理者の育成及び指導に関すること。
- (7) 消防広報に関すること。
- (8) 火災の調査に関すること。
- (9) 火災統計及び報告に関すること。
- (10) 諸証明に関すること。
- (11) その他予防に関すること。

##### 危険物係

- (1) 危険物関係の許認可及び取締り指導に関すること。
- (2) 危険物安全協会の育成指導に関すること。
- (3) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安に関すること。
- (4) 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）第25条第1項に基づく煙火消費の許可に  
関すること。
- (5) 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び婦人防火クラブ等の育成指導に関すること。
- (6) その他危険物に関すること。

## 警防課

### 警防係

- (1) 消防計画に関すること。
- (2) 水火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。
- (3) 消防車両及び機械器具の整備計画に関すること。
- (4) 消防車両及び機械器具の整備及び維持管理に関すること。
- (5) 消防機械器具の研究改善に関すること。
- (6) 機関員の安全運転教育に関すること。
- (7) 消防車両等の燃料に関すること。
- (8) 消防水利の設置及び維持管理等に関すること。
- (9) 潜水隊に関すること。
- (10) 職員の警防訓練に関すること。
- (11) 災害統計に関すること。
- (12) 開発行為に関すること。
- (13) 応援協定に関すること。
- (14) 自主防災組織の育成指導に関すること。
- (15) 救急業務に関すること。
- (16) 救助業務に関すること。
- (17) 救急救助統計に関すること。
- (18) 職員の救急救助訓練に関すること。
- (19) 医師会及び医療機関等との連絡調整に関すること。
- (20) その他警防及び救急救助に関すること。

### 消防団係

- (1) 消防協会事務に関すること。
- (2) 消防団施設（車庫、消防車両及び機械器具等）の整備計画に関すること。
- (3) 消防団の車庫、車両及び機械器具の維持管理に関すること。
- (4) 消防団車両等の燃料に関すること。
- (5) 消防団の組織に関すること。
- (6) 消防団員の公務災害補償及び退職報償金に関すること。
- (7) 消防団員の任免及び表彰に関すること。
- (8) 消防団の会議等に関すること。
- (9) 消防団員の研修訓練に関すること。
- (10) 消防団機関員の安全運転教育に関すること。
- (11) 消防団員の被服及び貸与品に関すること。
- (12) 非常備消防予算の編成及び執行に関すること。
- (13) その他消防団に関すること。

## (2) 消防署

### 庶務係

- (1) 消防関係例規の制定、改廃等に関する事。
- (2) 消防職員の研修に関する事。
- (3) 消防職員の褒章及び表彰に関する事。
- (4) 消防年報に関する事。
- (5) 消防統計及び広報に関する事。
- (6) 消防職員委員会に関する事。
- (7) 消防職員の貸与被服及び貸与物品に関する事。
- (8) その他他の係に属しない事項

### 通信指令係

- (1) 水火災その他の災害及び救急業務に係る受報及び出動指令に関する事。
- (2) 消防隊の統制的指揮運用及び応援要請に関する事。
- (3) 電話交換業務に関する事。
- (4) 消防通信の計画、配置、運用及び改善並びに消防通信施設の維持管理に関する事。
- (5) 通信勤務員の通信技術の訓練及び指導に関する事。
- (6) 気象情報その他消防気象に関する事。
- (7) 火災警報に関する事。
- (8) 各種警報、情報及び非常招集の伝達に関する事。
- (9) 消防資料の入出力に関する事。
- (10) その他通信指令業務に関する事。

### 予防係

- (1) 災害予防知識の普及及び啓発に関する事。
- (2) 火災予防査察に関する事。
- (3) 建築同意事務に関する事。
- (4) 消防用設備等の設置に関する指導及び規制に関する事。
- (5) 出水市火災予防条例（平成18年出水市条例第175号）に基づく諸届認可等に関する事。
- (6) 防火管理者の育成及び指導に関する事。
- (7) 消防広報に関する事。
- (8) 火災の調査に関する事。
- (9) 火災統計及び報告に関する事。
- (10) 諸証明に関する事。
- (11) その他予防に関する事。

## 危険物係

- (1) 危険物関係の許認可及び取締り指導に関すること。
- (2) 危険物安全協会の育成指導に関すること。
- (3) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安に関すること。
- (4) 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）第25条第1項に基づく煙火消費の許可等に関すること。
- (5) 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び婦人防火クラブ等の育成指導に関すること。
- (6) その他危険物に関すること。

## 警防係

- (1) 消防計画に関すること。
- (2) 水火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。
- (3) 消防車両及び機械器具の整備計画に関すること。
- (4) 消防車両及び機械器具の整備及び維持管理に関すること。
- (5) 消防機械器具の研究改善に関すること。
- (6) 機関員の安全運転教育に関すること。
- (7) 消防車両等の燃料に関すること。
- (8) 消防水利の設置及び維持管理等に関すること。
- (9) 潜水隊に関すること。
- (10) 職員の警防訓練に関すること。
- (11) 災害統計に関すること。
- (12) 開発行為に関すること。
- (13) 応援協定に関すること。
- (14) 自主防災組織の育成指導に関すること。
- (15) 救急業務に関すること。
- (16) 救助業務に関すること。
- (17) 救急救助統計に関すること。
- (18) 職員の救急救助訓練に関すること。
- (19) 医師会及び医療機関等との連絡調整に関すること。
- (20) その他警防及び救急救助に関すること。



## 消防団係

- (1) 消防協会事務に関すること。
- (2) 消防団施設（車庫、消防車両及び機械器具等）の整備計画に関すること。
- (3) 消防団の車庫、車両及び機械器具の維持管理に関すること。
- (4) 消防団車両等の燃料に関すること。
- (5) 消防団の組織に関すること。
- (6) 消防団員の公務災害補償及び退職報償金に関すること。
- (7) 消防団員の任免及び表彰に関すること。
- (8) 消防団の会議等に関すること。
- (9) 消防団員の研修訓練に関すること。
- (10) 消防団機関員の安全運転教育に関すること。
- (11) 消防団員の被服及び貸与品に関すること。
- (12) 非常備消防予算の編成及び執行に関すること。
- (13) その他消防団に関すること。

## 10 消防庁舎の概要

(消防本部・署)

位 置	鹿児島県出水市緑町50番2号
構 造	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	4,866.90㎡
建築面積	860.29㎡
延面積	1,361.00㎡
床面積	1階 801.00㎡ 書庫、車庫、消防仮眠室、救急仮眠室、待機室、厨房、食堂、他 2階 560.00㎡ 消防長室、事務室、大会議室、通信指令室、機械室、他
竣工年月	平成元年6月

(訓練塔)

構 造	鉄筋コンクリート造5階建
建築面積	27.00㎡
延面積	135.00㎡
高 さ	16.00㎡
竣工年月	平成元年12月

(分 署)

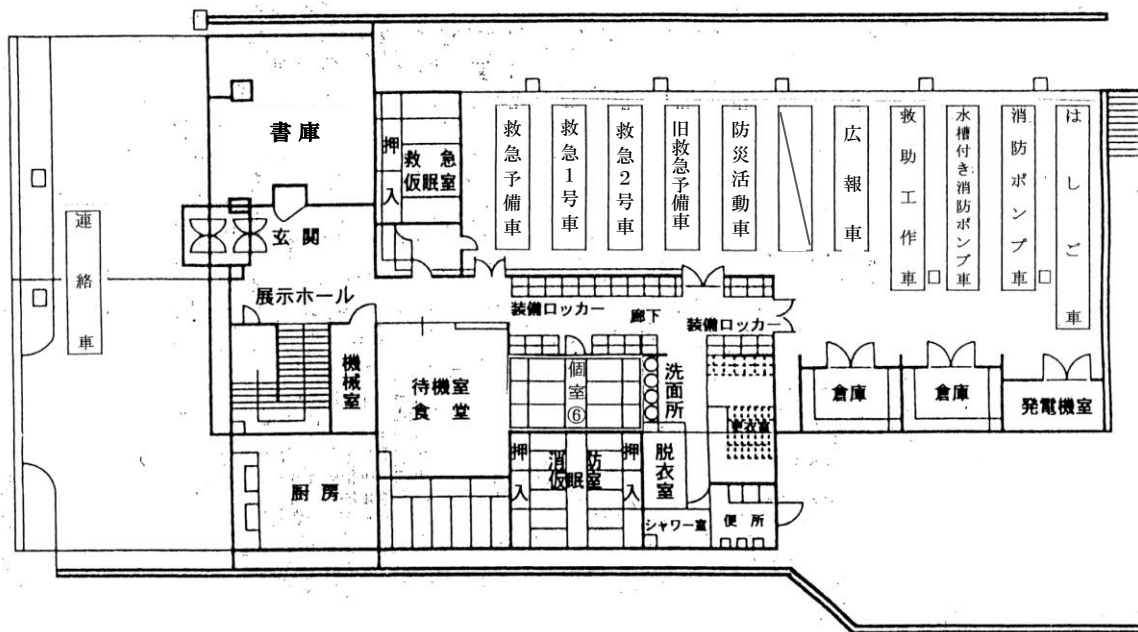
位 置	鹿児島県出水市高尾野町下高尾野1710番地1
構 造	鉄筋コンクリート造一部2階建
敷地面積	2,877.00㎡
建築面積	441.26㎡
延面積	495.89㎡
床面積	1階 415.89㎡ 事務室、会議室、車庫、仮眠室、待機室、調理室、浴室、他 2階 80.00㎡(訓練補助塔) 訓練室

(訓練塔)

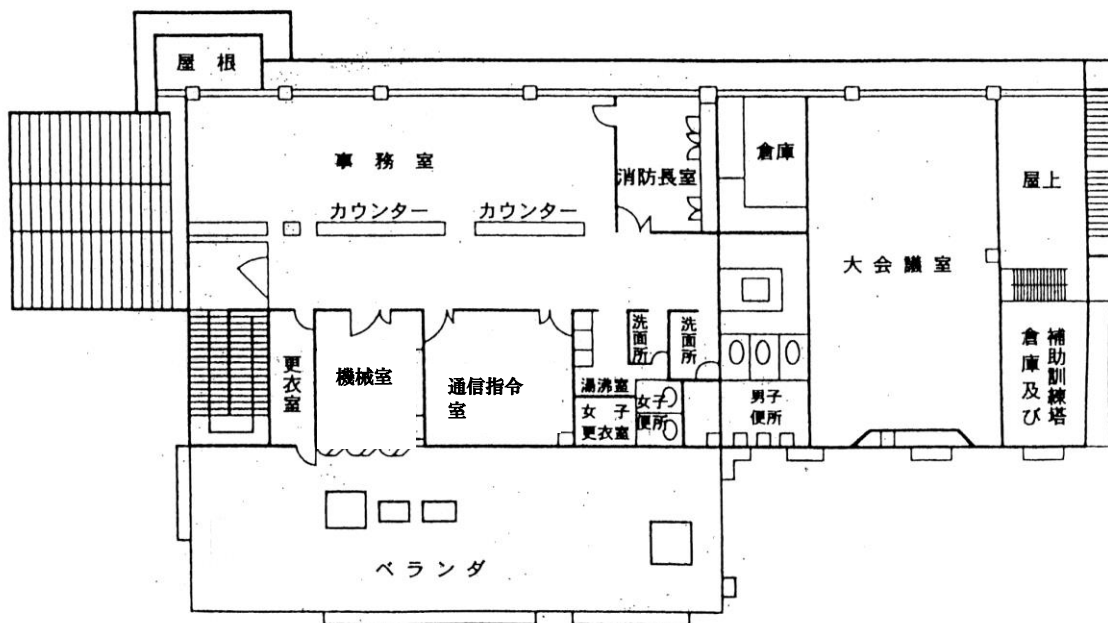
構 造	鉄骨造2階建
建築面積	33.94㎡
延面積	50.00㎡
高 さ	8.17㎡
竣工年月	平成14年3月8日 (庁舎及び訓練塔)

(1) 本署平面図

一階平面図 (801.00m<sup>2</sup>)

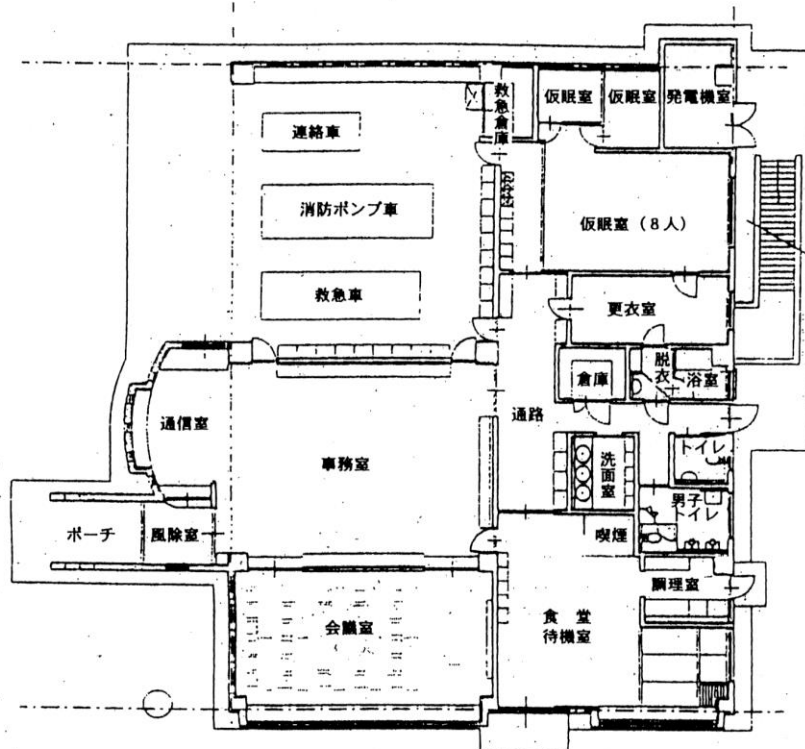


二階平面図 (560.00m<sup>2</sup>)

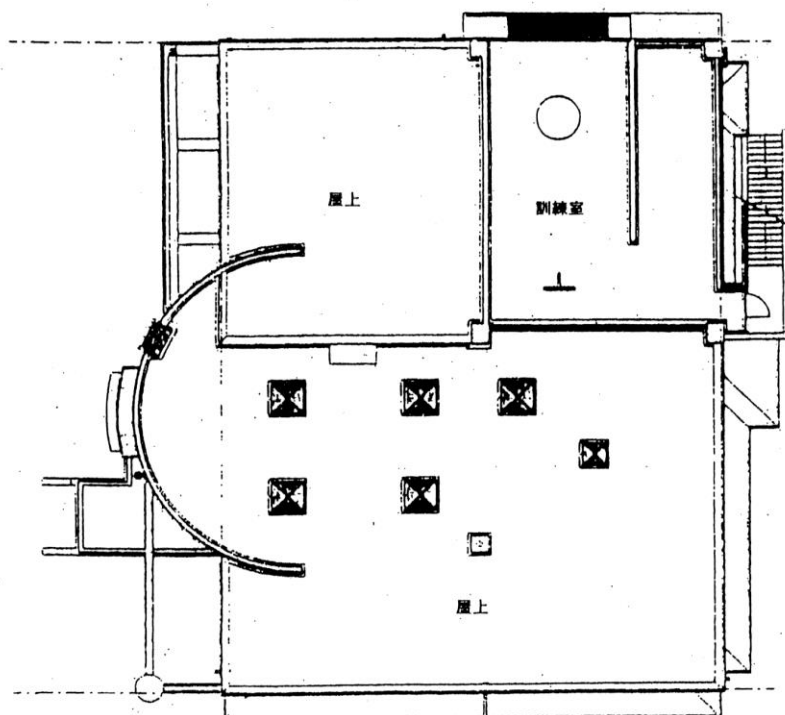


(2) 分署平面図

一階平面図 (415.89m<sup>2</sup>)



二階平面図 (80.00m<sup>2</sup>)



# 消 防 財 政

## 1 令和2年度消防費決算額

### (1) 消防費決算額と住民の負担状況

消防費決算額 (歳出額)	人口 (令和2年4月1日現在)	住民1人当たり の負担額	世帯数 (令和2年4月1日現在)	1世帯当たりの 負担額
円	人	円	世帯	円
879,765,879	53,018	16,594	25,356	34,697

#### ※ 消防費決算額の内訳

常備消防費	687,885,823	円
非常備消防費	161,683,035	円
消防施設費	0	円
水防費	1,786	円
災害対策費	30,195,235	円

### (2) 一般会計決算に占める消防費の割合

一般会計決算額	消防費決算額	消防費の割合
円	円	%
36,912,138,060	879,765,879	2.38

## 2 令和3年度消防費当初予算

(単位：千円)

款・項・目	節	令和2年度	令和3年度	比較増減
9.	消 防 費	884,203	723,174	△ 161,029
1.	消 防 費	884,203	723,174	△ 161,029
1.	常 備 消 防 費	673,098	584,459	△ 88,639
	給 料	235,955	243,466	7,511
	職 員 手 当 等	175,555	181,370	5,815
	共 済 費	89,313	89,638	325
	報 償 費	208	208	0
	旅 費	737	1,639	902
	需 用 費	18,977	17,706	△ 1,271
	役 務 費	5,067	5,098	31
	委 託 料	11,645	27,279	15,634
	使 用 料 及 び 賃 借 料	2,280	2,745	465
	工 事 請 負 費	2,800	0	△ 2,800
	原 材 料 費	0	0	0
	公 有 財 産 購 入 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	124,660	7,560	△ 117,100
	負 担 金、補 助 金 及 び 交 付 金	5,450	7,467	2,017
	公 課 費	451	283	△ 168
2.	非 常 備 消 防 費	188,974	118,721	△ 70,253
	報 酬	25,880	23,119	△ 2,761
	給 料	4,700	1,821	△ 2,879
	職 員 手 当 等	2,618	1,256	△ 1,362
	共 済 費	1,610	619	△ 991
	災 害 補 償 費	0	0	0
	報 償 費	500	464	△ 36
	旅 費	36,077	31,372	△ 4,705
	需 用 費	5,805	5,505	△ 300
	役 務 費	1,487	1,195	△ 292
	委 託 料	250	160	△ 90
	使 用 料 及 び 賃 借 料	300	300	0
	原 材 料 費	0	0	0
	工 事 請 負 費	69,542	0	△ 69,542
	備 品 購 入 費	27,100	39,900	12,800
	負 担 金、補 助 金 及 び 交 付 金	12,479	12,373	△ 106
	公 課 費	626	637	11
4.	水 防 費	2	2	0
5.	災 害 対 策 費	22,129	19,992	△ 2,137

# 人員及び機材



# 1 消防職員の配置状況

R3.4.1

階 級		消 防 吏 員					その他の職員	計
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長		
消 防 本 部	消 防 長	1						1
	消防総務課長		1					1
	予 防 課 長		1					1
	警 防 課 長		1					1
	庶 務 係 長			1				1
	通信指令係長			1				1
	予 防 係 長			1				1
	危 険 物 係 長			1				1
	警 防 係 長			1				1
	消 防 団 係 長			1				1
	小 計	1	3	6				10
出 水 消 防 署	署 長		(1)					(1)
	係 長			6				6
	隊 長			(2)				(2)
	小 隊 長			1(3)				1(3)
	分 隊 長			2(1)	3			5(1)
	隊 員				6	13	12	31
	初任教育入校						1	1
	小 計		(1)	9(6)	9	13	13	44(7)
石 坂 分 署	分 署 長		1					1
	小 隊 長			2				2
	分 隊 長			2	2			4
	隊 員				2	5	5	12
	初任教育入校							
	小 計		1	4	4	5	5	19
合 計		1	4(1)	19(6)	13	18	18	73(7)

※ ( )内数字は兼務

## 2 消防職員の階級別年齢調べ

R3.4.1

年 齢	階級別							
	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	その他の職員	計
20歳未満						1		1
20歳以上～25歳未満						8		8
25 " ～30 "					8	8		16
30 " ～35 "				6	10	1		17
35 " ～40 "			2	6				8
40 " ～45 "			3	1				4
45 " ～50 "			9					9
50 " ～55 "		1	3					4
55 "	1	3	2					6
計	1	4	19	13	18	18		73
階 級 別 平 均 年 齢	57	56	47	34	29	24		

※ 平均年齢:小数点以下切り捨て

(全体平均 35.93歳)

## 3 消防職員の勤続年数状況

R3.4.1

勤続年数	階級別							
	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	その他の職員	計
1年未満						1		1
1年以上～ 5年未満						5		5
5 " ～10 "					7	12		19
10 " ～15 "				9	11			20
15 " ～20 "			3	4				7
20 " ～25 "			2					2
25 " ～30 "			4					4
30 " ～35 "		1	9					10
35 " ～40 "	1	3	1					5
40 "								0
計	1	4	19	13	18	18		73

#### 4 職員の教養実施状況

R3.4.1

区 分	年 度	平 成												令 和		計	
		19 年 以 前	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2		
消防 大学 校	上 級 幹 部 科	3															3
	警 防 科	6										1					7
	予 防 科	6															6
	救 助 科	1															1
	火 災 調 査 講 習 会	2															2
鹿 児 島 県	初 任 教 育	105	5	5	4	3	3	3	3	4	6		3	1	1	146	
	予 防 科	予 防 科	37														37
		予 防 課 程	4														4
		査 察 課 程	1														1
		火 災 調 査 科	20	2		1		1		1		1	1	1		1	29
		予 防 査 察 科	9		2		1		1				1		1		15
	救 急 科	救 急 I 課 程	80														80
		救 急 II 課 程	23														23
		救 急 標 準 課 程	17	2	2	2	2	1	2	2	3	2	2	2	2	2	43
		気 管 挿 管 講 習	6	3	3												12
	救 助 科	25			2	1	1	1	1		1	1	1	1	1	36	
	消 無 線 通 信 課 程 (無 線 科)	39														39	
	防 学 校	初 級 幹 部 科	31		2		1		1								35
		中 級 幹 部 科	11	2		1		1		1							16
		上 級 幹 部 科	1														1
		警 防 科	9		2												11
		操 法 指 導 員 科	76	6		6		3		3		3		6			103
梯 子 自 動 車 等 研 修		4														4	
応 急 手 当 指 導 員 講 習		4														4	
機 関 科		2														2	
ラ ッ パ 科		8														8	
そ の 他		救 急 救 命 研 修	14					1	1	1	1	1					19
	新 処 置 追 加 講 習	3	1	1	1	1	2	2			2	2	3	2	3	23	
		H18～H25 アドレナリン投与 H28～R2 心停止前の静脈路確保及び輸液、血糖測定並びにブドウ糖溶液投与、ビデオ喉頭鏡 ※福元消防士は令和2年度も実習中のため含んでいない。															
	気 管 挿 管 実 習					1	1	1	2	2	2	2	1	2		14	
	指 導 救 命 士 養 成 研 修									1						1	
	特 殊 無 線 技 師 講 習	46														46	
	小 型 移 動 式 クレーン 運 転 技 能 講 習	18	1	1									2		1	23	
	アーク溶接等特別教育	1														1	
	消 防 救 急 緊 急 自 動 車 運 転 技 能 者 課 程	1														1	
	玉 掛 技 能 講 習	20	1										2		1	24	

※ 昭和37年消防本部発足以来の職員数

## 5 職員資格取得調べ

R3.4.1

階級別 種目(免許)	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	その他の職員	計
第一種大型自動車	1	4	19	13	18	18		73
第一種中型自動車								
第一種中型自動車(8t未満)		1	1	2				4
第一種普通自動車						2		2
大型特殊自動車				1	1			2
救急救命士	1	2	12	7		8		30
潜水士	1	1	9	3	2	1		17
小型移動式クレーン		2	8	5	6			21
玉掛技能		2	7	4	6			19
主任無線従事者			3					3
第2級陸上特殊無線技師(陸特2)		2	2					4
第3級陸上特殊無線技師(陸特3)	1	2	17	2	4	1		27
乙種危険物取扱者		1	16	13	14	15		59
丙種危険物取扱者			1					1
乙種消防設備士				1	1			2
16ミリ映写機操作免許		1	1					2
教員免許		1	1	1	1			4
高圧電気工事士			1					1
第一種電気工事士		1	3					4
アマチュア無線			2	2				4
二級小型船舶操縦士	1	1	4		1	1		8
衛生管理者		1		1				2
安全衛生推進者					1			1
特定化学物質等作業主任者		1	2					3
予防技術資格者(附則4項認定)防火査察	1	2	7					10
予防技術資格者(検定合格)防火査察			2	4	6	3		15
予防技術資格者(附則4項認定)消防用設備等	1	1	7					9
予防技術資格者(検定合格)消防用設備等		1	2		3	1		7
予防技術資格者(附則4項認定)危険物		1	4					5
予防技術資格者(検定合格)危険物			2	1	3			6

## 6 消防車両

R3. 4. 1

配置	車名	シャーシメーカー	初年度 登録年月日	総排 気量 (L)	ポンプ 製造元	摘 要
本	水槽付消防 ポンプ自動車	日野	H21.12.17	6.40	ナカムラ 消防化学	水Ⅱ型（水槽容量2 m <sup>3</sup> ） キャブス積載
	消防ポンプ自動車	〃	H25. 3.22	6.40	日本機械 工業	CD-Ⅱ型
	はしご付消防 ポンプ自動車	〃	H 31.3.27	8.86	モリタ	地上高35m
	救急1号車	トヨタ	R2.1.28	2.69		高規格救急自動車
	救急2号車	トヨタ	H30. 1.26	2.69		高規格救急自動車
	救急予備車	トヨタ	H22. 2. 5	2.69		高規格救急自動車
	救助工作車	日野	R2.11.27	5.12		前後引き式ウィンチ（前5トン・後10t） クレーン（2.9トン吊り） 屋上上昇式発電照明灯（6000W）
	指令車	トヨタ	H5. 6.17	1.98		
	広報車	日産	H10. 7.27	2.38		4WD
署	事務連絡車	ダイハツ	H12. 6.28	0.65		
	マイタロバス	トヨタ	H11. 6.28	2.43		15人乗り
	消防ポンプ自動車	日野	H24. 3.14	4	ナカムラ 消防化学	CD-I型 (FRP水槽 容量600ℓ)
分	救急3号車	トヨタ	H27. 2. 6	2.69		高規格救急自動車
	連絡車	ダイハツ	H28.11.25	0.65	シバウラ	C-I軽可搬ポンプ積載
署	連絡車	ダイハツ	H28.11.25	0.65	シバウラ	C-I軽可搬ポンプ積載
上場	婦人防火クラブ車	三菱	H 8. 9.15	0.65	シバウラ	C-I軽可搬ポンプ積載
消防団	防災活動車	三菱	H27.12. 9	2.35		平成27年度共済事業による交付車両 (財)日本消防協会

## 7 特殊機材

R3. 4. 1現在 No. 1

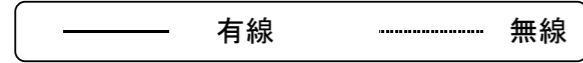
種別	機 材 名	メ ー カ ー ・ 規 格 等	現有数	配 置		
				本署	分署	
救	エンジンカッター	スチール	4	3	1	
	空気切断機	アジャックス	1	1		
	チェーンソー	スチール	9	7	2	
	ガス溶断器	OZ	1	1		
	油圧救助器具	ルーカス	1	1		
	簡易救助器具	オグラ	1		1	
	マット型エアジャッキ	フェッター	1	1		
	削 岩 機	H I L T I	1	1		
	可搬ウインチ	チルホール	3	2	1	
	マンホール救助機	アリゾナボーテックス	1	1		
助	空気式救助マット	フェッター	1	1		
	救命浮環	水難救助用	12	11	1	
	救命胴衣		74	62	12	
	救助用担架	船型式	5	4	1	
	バックボード	全脊柱固定担架	4	3	1	
	救助用ボート	組立式（船外機付）、ゴム製（船外機付）	3	3		
	送排風機	ラムファン	1	1		
	救命索発射銃	レスキューMAX	1	1		
	三連はしご	チタン製	1	1		
	防毒マスク	シゲマツ CA-6040V	5	5		
用	可燃性ガス測定器	新コスモス	5	4	1	
	ウェットスーツ		15	15		
	潜水資機材一式	アクアラング、スキューバプロ	13	13		
	火	空気呼吸器	陽圧式	28	23	5
		耐 熱 服	特殊防火衣 エミュー	1	1	
	災	発 電 機	300w、400w、800W、2400W	9	8	1
		三 連 は し ご	ステンレス製、鋼鉄製（6.4m）	2	1	1
		背負式消火水のう	山林火災用	33	23	10
		ウォーターチャージャー	PC-65 6口	1	1	
		簡 易 水 槽		3	2	1
ラインプロポーションナー		危険物火災用	1	1		
小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツC-1級、ラビットC-1級、シバウラC-1級	3	2	1	

種別	機 材 名	メ ー カ ー ・ 型 式 ・ 規 格 等	現有数	配 置	
				本署	分署
救 急 用	気道確保用資機材一式	パラパックプラス300他	5	4	1
	自動体外式除細動器	ZOLL AEDPRO	9	7	2
		日本光電TEC 2513			
		レールダルハートスタートMRxE、4000他			
	患者監視モニター	ZOLL Xシリーズ(救I・救II)	5	4	1
		大日本住友製薬レーダーサーク(救III・救予)			
GEメディカルDASH3000(旧救予)					
自動式心臓マッサージ器	ルーカス	2	1	1	
	オートパルス				
防振ストレッチャー	磁気浮上式	5	4	1	
訓 練 用	高度救命処置用訓練資機材一式	レールダル、コウケン他	3	2	1
	レサシアン	成人7, 幼児4	11	7	4
	訓練用ダミー	体重30kg 成人	2	2	
	安全マット	500×1800×2200	8	6	2
	張力計		2	1	1
	AEDトレーナー	メドトロニック他	6	4	2
そ の 他	空気ボンベ充填機	3段圧縮空冷式	1	1	
	エアーテント	アキレス製	1	1	

# 通信及び水利



# 1 出水市消防通信系統図



出水市消防団	団 長	第3分団長	第10分団長
	副団長(出水)	第4分団長	第11分団長
	〃 (米ノ津)	第5分団長	
	〃 (高尾野)	第6分団長	
	〃 (野 田)	第7分団長	
	第1分団長	第8分団長	
	第2分団長	第9分団長	

団 本 部	受令機 1~5	消防団長・副団長
第1分団 自動車部	いずみししょうぼうだん いちのじ	(第1分団自動車部)
第2分団 自動車部	いずみししょうぼうだん にのじ	(第2分団自動車部)
第3分団	自動車部	(第3分団自動車部)
	第2部	(第3分団第2部)
第3分団	第3部	(第3分団第3部)
	自動車部	(第4分団自動車部)
第4分団	第2部	(第4分団第2部)
	第3部	(第4分団第3部)
第5分団	自動車部	(第5分団自動車部)
	第2部	(第5分団第2部)
第5分団	第3部	(第5分団第3部)
	自動車部	(第6分団自動車部)
第6分団	第2部	(第6分団第2部)
	自動車部	(第7分団自動車部)
第6分団	第2部	(第7分団第2部)
	第3部	(第7分団第3部)
第8分団	1号車部	(第8分団1号車部)
	2号車部	(第8分団2号車部)
第9分団	1号車部	(第9分団1号車部)
	2号車部	(第9分団2号車部)
第10分団	1号車部	(第10分団1号車部)
	2号車部	(第10分団2号車部)
第11分団	自動車部	(第11分団自動車部)
	上名部	(第11分団上名部)
第11分団	下名部	(第11分団下名部)

サイレン・放送

移 出 水 市 消 防 団 局 署

**消 防 本 部**  
**出 水 消 防 署**  
 電話(代) (0996)63-0119  
 基 地 局  
 いずみしょうぼうほんぶ 20W

出 水 市 長  
 政 策 経 営 部 長  
 総 務 課 長  
 く ら し 安 心 課 長

消 防 長  
 消 防 総 務 課 長  
 予 防 課 長  
 警 防 課 長・署 長  
 庶 務 係 長  
 通 信 指 令 係 長  
 予 防 係 長  
 危 険 物 係 長  
 警 防 係 長  
 消 防 団 係 長  
 石 坂 分 署 長

警 察 署  
 九 州 電 力  
 出 水 ガ ス  
 救 急 指 定 病 院

**石 坂 分 署**  
 電話(代) (0996)82-2441  
 基 地 局  
 いずみしょうぼういしざか 10W

移 本 動 局 署

移 分 動 局 署

- いずみしょうぼう1 (銀河号・水槽付消防ポンプ自動車)
- いずみしょうぼう2 (矢筈号・消防ポンプ自動車)
- いずみしょうぼう3 (梯子車)
- いずみしょうぼう4 (救助工作車)
- いずみしょうぼう6 (防災活動車)
- いずみしょうぼう7 (広報車)
- いずみしょうぼうきゅうきゅう1 (救急1号車)
- いずみしょうぼうきゅうきゅう2 (救急2号車)
- いずみしょうぼうきゅうきゅう4 (救急予備車)
- いずみしょうぼう101 (携帯・銀河)
- いずみしょうぼう102 (携帯・銀河)
- いずみしょうぼう103 (携帯・矢筈)
- いずみしょうぼう104 (携帯・矢筈)
- いずみしょうぼう105 (携帯・救助工作車)
- いずみしょうぼう106 (携帯・救助工作車)
- いずみしょうぼう107 (携帯・救助工作車)
- いずみしょうぼう108 (携帯・梯子車)
- いずみしょうぼう109 (携帯・救急1号車)
- いずみしょうぼう110 (携帯・救急2号車)
- いずみしょうぼう111 (携帯・救急予備車)
- いずみしょうぼう112 (携帯・防災活動車)
- いずみしょうぼう113 (携帯・防災活動車)
- いずみしょうぼう114 (携帯・防災活動車)
- いずみしょうぼう115 (携帯・本署)
- いずみしょうぼう116 (携帯・本署)
- いずみしょうぼうかはん1・2 (可搬・本署)

いずみしよかつ1~15 署活系 (400MHz帯)

いずみしよかつ21~27 署活系 (400MHz帯)

## 2 消防本部及び署の通信施設

R3.4.1

品名	個数			内容	備考
	計	本署	分署		

### 消防救急デジタル無線設備

消防無線基地局	2	1	1	本署：超短波 20W	活動波 1・活動波 2・主運用波 3 統制波 1・統制波 2・統制波 3
				分署：超短波 10W	活動波 1・活動波 2
消防無線車載型	12	9	3	超短波 10W	活動波 1・活動波 2 主運用波 (1～7) 統制波 1・統制波 2・統制波 3
消防無線卓上型	2	1	1	本署：超短波 10W 分署：超短波 10W	活動波 1・活動波 2 主運用波 (1～7) 統制波 1・統制波 2・統制波 3
消防無線携帯型	21	16	5	超短波 5W	活動波 1・活動波 2 主運用波 (1～7) 統制波 1・統制波 2・統制波 3
消防無線可搬型	3	2	1	超短波 10W	活動波 1・活動波 2 主運用波 (1～7) 統制波 1・統制波 2・統制波 3

### 署活系（アナログ無線）

署活系携帯型 (400MHz帯)	22	15	7	超短波 1W	市波 1・市波 2・九州波 1 九州波 2・九州波 3・防災相互波
---------------------	----	----	---	--------	--------------------------------------

### アナログ無線設備

消防無線車載型	1	0	1	超短波 10W	防災相互波
消防無線携帯型	3	1	2	超短波 5W	防災相互波

指令電話等

火災報知専用電話 119	回 線			119番	INS4 衛星受信1 携帯転送受信2 携帯4 ヘルプネット2	
	13	13	0			
一般加入電話	回 線			(本署) 63-0119 代表電話 63-2145 63-1240 テレガイド 63-1534 指令台 (分署) 82-2441	代表電話4 テレガイド2 分署電話2 指令台2	
	10	8	2			
ファックス	3	2	1	本署	62-1119	会話等が不自由な人の緊急通報回線
				分署	63-2281	事務連絡回線
					82-0052	
専用指令回線	1回線			本署⇔分署	本署と分署の専用回線（BEW回線）	
順次指令	4回線				火災時の自動連絡回線	
アプローチ回線	1回線			本署⇔分署	DA64回線（デジタル無線用）	
IP電話	2回線				鹿児島県防災情報ネットワーク回線	
市役所専用線	1回線			本署⇔市役所	本署と市役所の専用回線	
携帯電話	6回線				救急1号車業務用1	
					救急2号車業務用1	
					救急3号車業務用1	
					本署災害用(通信室)2	
					分署災害用(石坂分署)1	
NET119	1回線			スマートフォン用119	会話等が不自由な人の緊急通報回線	

3 出水市消防団の通信施設

R3.4.1

品 名	個 数	内 容	備 考
消防無線車載型	25	超短波10W	活動波1・主運用波(3・7) 統制波1・統制波2・統制波3
受 令 機	6		活動波1・主運用波(3・7) 統制波1・統制波2・統制波3  出水市消防団長・副団長(4名)に貸与 ※予備1機を本署で保管

#### 4 地域別水利状況

R3.4.1

地域別	水利別 分団別	防火水そう						消火栓 (簡易水道含) 75mm以上	プール (指定)
		10m <sup>3</sup> 未満	10m <sup>3</sup> ~ 20m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> ~ 30m <sup>3</sup> 未満	30m <sup>3</sup> ~ 40m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上	小計		
水出	1分団		1	1	2	13 (12)	17	81	1
	2分団		2	1	4	13 (13)	20	84	1
	3分団	1	9	1	6	4 (4)	21	145	3
	4分団		1		3	12 (7)	16	108	3
	5分団	2	6	5	4	3 (2)	20	84	2
	6分団		1		3	4 (4)	8	23	1
	7分団				7	1 (1)	8	21	1
	小計	3	20	8	29	50 (43)	110	546	12
高尾野	8分団	8	37	19	3	15 (13)	82	64	2
	9分団	3	42	11		15 (15)	71	38	1
	10分団	2	32	9		10 (10)	53	35	1
	小計	13	111	39	3	40 (38)	206	137	4
野田	11分団 自動車部	2	20	9	1	12 (9)	44	42	3
	11分団 上名部		11	3	3	11 (8)	28	4	
	11分団 下名部	1	19	1	1	2	24	27	
	小計	3	50	13	5	25 (17)	96	73	3
合計		19	181	60	37	115 (98)	412	756	19

※( )は耐震性防火水槽

予

防

# 1 管轄区域別防火対象物

R3.4.1 現在

令 別 表 区 分		地 域 別	本署管轄	分署管轄	計
			出水地域	(高尾野・野田・荘地域)	
1	イ	劇 場 等	5		5
	ロ	公 会 堂 等	12	7	19
2	イ	キ ャ バ レ ー 等	3		3
	ロ	遊 技 場 等	10	1	11
	ハ	風 俗 営 業 を 営 む 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2		2
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店 等	43	5	48
4		百 貨 店 等	95	22	117
5	イ	旅 館 等	23	17	40
	ロ	寄 宿 舎 等	364	49	413
6	イ	病 院 等	44	10	54
	ロ	入 所 施 設 等	23	11	34
	ハ	通 所 施 設 等	47	27	74
	ニ	幼 稚 園 等	12	2	14
7		学 校 等	68	50	118
8		図 書 館 等	3	3	6
9	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等			
	ロ	公 衆 浴 場 等	1	2	3
10		車 両 の 停 車 場 等	1		1
11		神 社 ・ 寺 院 等	15	4	19
12	イ	工 場 及 び 作 業 場 等	215	146	361
13	イ	自 動 車 車 庫 又 は 駐 車 場	12	3	15
14		倉 庫	66	61	127
15		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	157	104	261
16	イ	特 定 を 含 む 複 合 用 途 防 火 対 象 物	60	20	80
	ロ	特 定 以 外 〃	25	5	30
17		指 定 文 化 財 等			
18		ア ー ケ ー ド			
計			1,306	549	1,855

## 2 防火管理者選任届出状況

R3.4.1 現在

令別表区分		地域別	本署管轄	分署管轄	計
			出水地域	(高尾野・野田・荘地域)	
1	イ	劇場等	5		5
	ロ	公会堂等	10	7	17
2	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等	8	1	9
	ハ	風俗営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	2		2
3	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店等	22	3	25
4		百貨店等	56	14	70
5	イ	旅館等	15	3	18
	ロ	寄宿舎等	10	1	11
6	イ	病院等	18	6	24
	ロ	入所施設等	18	11	29
	ハ	通所施設等	23	13	36
	ニ	幼稚園等	6		6
7		学校等	12	9	21
8		図書館等	3	3	6
9	イ	蒸気・熱気浴場等			
	ロ	公衆浴場等	1	1	2
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院等	8	3	11
12	イ	工場及び作業場等	11	12	23
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1		1
14		倉庫		1	1
15		前各項に該当しない事業場	25	18	43
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	39	15	54
	ロ	特定以外	1	2	3
17		指定文化財等			
18		アケード			
計			294	123	417

### 3 防火管理者資格取得講習会実施状況

年	種 別	実 施 回 数(回)	修 了 者 数(人)
昭和 55年以前		8	701
” 56 ”		1	56
” 57 ”		1	59
” 58 ”		1	62
” 59 ”		1	40
” 61 ”		1	89
” 62 ”	乙 種	1	32
” 63 ”	甲 種	1	84
平成元年	甲 種	1	67
” 2 ”	甲 種	1	60
” 3 ”	甲 種	1	72
” 4 ”	甲 種	1	82
” 5 ”	甲 種	1	59
” 6 ”	甲 種	1	53
” 7 ”	甲 種	1	69
” 8 ”	甲 種	1	59
” 9 ”	甲 種	1	57
” 10 ”	甲 種	1	56
” 11 ”	甲 種	1	49
” 12 ”	甲 種	1	45
” 13 ”	甲 種	1	31
” 14 ”	甲 種	1	56
” 15 ”	甲 種	1	46
” 16 ”	甲 種	1	68
” 17 ”	甲 種	1	51
” 18 ”	甲 種	1	64
” 19 ”	甲 種	1	63
” 20 ”	甲 種	1	83
” 21 ”	甲 種	1	74
” 22 ”	甲 種	1	59
” 23 ”	甲 種	1	66
” 24 ”	甲 種	1	70
” 25 ”	甲 種	1	54
” 26 ”	甲 種	1	49
” 27 ”	甲 種	1	48
” 28 ”	甲 種	1	54
” 29 ”	甲 種	1	48
” 30 ”	甲 種	1	55
令和元年度	甲 種	1	52
” 2 ”	甲 種	1	50
計		47	2,992

### 4 防火管理者上級講習会実施状況

年	実 施 回 数(回)	修 了 者 数(人)
昭和55年	1	87
” 59 ”	1	130
” 63 ”	1	185
平成6年	1	193
計	4	595



## 5 予防査察実施状況(回数)

R2.4.1～R3.3.31

令別表区分		地域別	本署管轄	分署管轄	計
			出水地域	(高尾野・野田・荘地域)	
1	イ	劇場等			
	ロ	公会堂等		7	7
2	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等	1	1	2
	ハ	風俗営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1		1
3	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店等	3	3	6
4		百貨店等	40	21	61
5	イ	旅館等	7	17	24
	ロ	寄宿舎等	2	9	11
6	イ	病院等	1	11	12
	ロ	入所施設等	3	11	14
	ハ	通所施設等	17	23	40
	ニ	幼稚園等	2	2	4
7		学校等	61	50	111
8		図書館等	1	3	4
9	イ	蒸気・熱気浴場等			
	ロ	公衆浴場等		2	2
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院等		4	4
12	イ	工場及び作業場等	1	97	98
13	イ	自動車車庫又は駐車場		1	1
14		倉庫		29	29
15		前各項に該当しない事業場	7	20	27
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	5	6	11
	ロ	特定以外	6	2	8
17		指定文化財等			
18		アーケード			
計			158	319	477

## 6 建築同意事務処理状況(件数)

(1) 建築種類別

R2.4.1～R3.3.31

種 別	内 訳				
	同 意 状 況				合 計
	本署管轄		分署管轄		
	出水地域		(高尾野・野田・荘地域)		
指導無	指導有	指導無	指導有		
新 築	32		14		46
増 築	2		4		6
改 築	0		0		0
既 設	0		0		0
用途変更	0		2		2
計画変更	5		2		7
計	39		22		61

## (2) 用途別(件数)

R2.4.1～R3.3.31

用途別(項)		区分	受付	指導無 同意	条件付 同意	不同意	返却
1	イ	劇場等					
	ロ	公会堂等					
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等					
	ハ	カラオケボックス等					
	ニ	風俗営業を行う店舗等					
3	イ	待合・料理店等					
	ロ	飲食店等					
4		百貨店等	10	10			
5	イ	旅館等					
	ロ	寄宿舎等	3	3			
6	イ	病院等					
	ロ	入所施設等					
	ハ	通所施設等	5	5			
	ニ	幼稚園等					
7		学校等	1	1			
8		図書館等					
9	イ	蒸気・熱気浴場等					
	ロ	公衆浴場等					
10		車両の停車場等					
11		神社・寺院等					
12	イ	工場及び作業場等	4	4			
13	イ	自動車車庫又は駐車場	2	2			
14		倉庫	5	5			
15		前各項に該当しない事業場	16	16			
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	2	2			
	ロ	特定以外					
17		指定文化財等					
18		アーケード					
その他(一般住宅等)			13	13			
計			61	61			

## 7 消防用設備等設置件数(棟)

R3.4.1 現在

種 別 用途別		消 火 設 備					警 報 設 備				避 難 設 備			非 常 電 源	消 火 器	合 計	
		屋 内 消 火 栓 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	連 結 送 水 管	水 噴 霧 消 火 設 備	消 防 用 水	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	火 災 通 報 装 置	避 難 器 具	排 煙 設 備				誘 導 灯
1	イ 劇 場 等	3		2			4		5	5	1	2	4	3	5	34	
	ロ 公 会 堂 等	4					13		14	11		1	15	3	18	79	
2	イ キ ャ バ レ ー 等						1		2		2		3		3	11	
	ロ 遊 技 場 等	1					9		5	8	1		10	2	10	46	
	ハ 風 俗 営 業 を 営 む 店 舗 等																
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等						2			1			2		2	7	
3	イ 待 合 ・ 料 理 店 等																
	ロ 飲 食 店 等	2					13		20	1	5		40	1	45	127	
4	ロ 百 貨 店 等	6	2	6		2	67		29	53			96	26	115	402	
5	イ 旅 館 等	4			2	2	36		2	14	4		30	5	32	131	
	ロ 寄 宿 舎 等				4		45	2	29	37	92		8		395	612	
6	イ 病 院 等	4		14	1	1	36		9	30	11		51	13	54	224	
	ロ 入 所 施 設 等	2		34			34		1	34	1		33	12	34	185	
	ハ 通 所 施 設 等	2					44		8	18	3		50		70	195	
	ニ 幼 稚 園 等			1			9		2	6	1		9	2	14	44	
7	ロ 学 校 等	11					90		14	39	5		8	12	115	294	
8	ロ 図 書 館 等	1					5		1	2	1		5	1	6	22	
9	イ 蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等																
	ロ 公 衆 浴 場 等								3				2	1	3	9	
10	ロ 車 両 の 停 車 場 等						1			1			1	1	1	5	
11	ロ 神 社 ・ 寺 院 等						1	1	12	1			1		18	34	
12	イ 工 場 及 び 作 業 場 等	44	8			4	1	156	1	1	167	1	50	33	360	826	
13	イ 自 動 車 車 庫 又 は 駐 車 場					3		6			2				15	26	
14	ロ 倉 庫	8	1				55			18	1		7	9	125	224	
15	前各項に該当しない事業場	8			1	7	32	1	25	74	3		37	22	250	460	
16	イ 特 定 を 含 む 複 合 用 途 物 防 火 対 象	3		10	2	1	49		14	28	9		59	14	76	265	
	ロ 特 定 以 外 "	1					9		3	3	3		11	1	30	61	
17	ロ 指 定 文 化 財 等																
18	ア ー ケ ー ド																
計		104	11	67	10	20	1	717	5	199	553	144	3	532	161	1,796	4,323

## 8 消防用設備等着工届出件数

R2.4.1～R3.3.31

用途別	種別	消 火 設 備					警 報 設 備			避難設備		合 計
		屋 内 消 火 栓 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	連 結 送 水 管	粉 末 消 火 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備	火 災 通 報 装 置	避 難 器 具	誘 導 灯	
1	イ 劇 場 等											
	ロ 公 会 堂 等											
2	イ キ ャ バ レ ー 等											
	ロ 遊 技 場 等											
	ハ 風 俗 営 業 を 営 む 店 舗 等											
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等											
3	イ 待 合 ・ 料 理 店 等											
	ロ 飲 食 店 等											
4	百 貨 店 等		1				5	4			2	12
5	イ 旅 館 等						1					1
	ロ 寄 宿 舎 等									2		2
6	イ 病 院 等							1		1		2
	ロ 入 所 施 設 等											
	ハ 通 所 施 設 等						3		3		1	7
	ニ 幼 稚 園 等											
7	学 校 等						1				1	2
8	図 書 館 等											
9	イ 蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等											
	ロ 公 衆 浴 場 等											
10	車 両 の 停 車 場 等											
11	神 社 ・ 寺 院 等											
12	イ 工 場 及 び 作 業 場 等	2				1	4					7
13	イ 自 動 車 車 庫 又 は 駐 車 場											
14	倉 庫											
15	前各項に該当しない事業場	1				2	1				1	5
16	イ 特 定 を 含 む 複 合 用 途 物						5					5
	ロ 特 定 以 外 "						1			1		2
17	指 定 文 化 財 等											
18	ア ー ケ ー ド											
計		3	1			3	21	5	3	4	5	45

## 9 消防用設備等検査件数

R2.4.1～R3.3.31

用途別		種別	消火設備			警報設備			避難設備		消火器	合計		
			屋内消火栓設備	屋外消火栓設備	スプリンクラー設備	連結送水管	粉末消火設備	自動火災報知設備	非常警報設備	火災通報装置			避難器具	誘導灯
1	イ	劇場等												
	ロ	公会堂等					2				2	4		
2	イ	キャバレー等												
	ロ	遊技場等												
	ハ	風俗営業等を営む店舗等												
	ニ	カラオケボックス等												
3	イ	待合・料理店等												
	ロ	飲食店等					1			3	3	7		
4		百貨店等		1			7	5		8	7	28		
5	イ	旅館等					1				1	2		
	ロ	寄宿舎等							2	1	2	5		
6	イ	病院等	1				1	1	1	3	2	9		
	ロ	入所施設等									1	1		
	ハ	通所施設等	1				4	1	3	7	8	24		
	ニ	幼稚園等												
7		学校等												
8		図書館等												
9	イ	蒸気・熱気浴場等												
	ロ	公衆浴場等												
10		車両の停車場等												
11		神社・寺院等												
12	イ	工場及び作業場等	2				1	2			1	4	10	
13	イ	自動車車庫又は駐車場												
14		倉庫												
15		前各項に該当しない事業場	1				1	2			1	8	13	
16	イ	特定を含む複合用途物					4	2			5	4	15	
	ロ	特定以外					1		1	1	1	4		
17		指定文化財等												
18		アケード												
計			5	1			2	22	12	3	4	30	43	122

# 10 消防用設備等検査済証交付件数

R2.4.1～R3.3.31

用途別	種別	消 火 設 備					警報設備			避難設備		消 火 器	合 計
		屋 内 消 火 栓 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	連 結 送 水 管	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備	火 災 通 報 装 置	避 難 器 具	誘 導 灯		
1	イ 劇 場 等												
	ロ 公 会 堂 等						2					2	4
2	イ キ ャ バ レ ー 等												
	ロ 遊 技 場 等												
	ハ 風 俗 営 業 等 を 営 む 店 舗 等												
3	イ 待 合 ・ 料 理 店 等												
	ロ 飲 食 店 等						1			3	3	7	
4	百 貨 店 等		1			7	5			8	7	28	
5	イ 旅 館 等					1					1	2	
	ロ 寄 宿 舎 等								2	1	2	5	
6	イ 病 院 等	1				1	1		1	3	2	9	
	ロ 入 所 施 設 等										1	1	
	ハ 通 所 施 設 等	1				4	1	3		7	8	24	
7	イ 幼 稚 園 等												
	ロ 学 校 等												
8	図 書 館 等												
9	イ 蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等												
	ロ 公 衆 浴 場 等												
10	車 両 の 停 車 場 等												
11	神 社 ・ 寺 院 等												
12	イ 工 場 及 び 作 業 場 等	2				1	2			1	4	10	
13	イ 自 動 車 車 庫 又 は 駐 車 場												
14	倉 庫												
15	前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	1				1	2			1	8	13	
16	イ 特 定 を 含 む 複 合 用 途 防 火 対 象 物					4	2			5	4	15	
	ロ 特 定 以 外 〃					1			1	1	1	4	
17	指 定 文 化 財 等												
18	ア ー ケ ー ド												
計		5	1			2	22	12	3	4	30	122	

# 11. 防火対象物使用開始届出件数

R2.4.1～R3.3.31

用途別		月別												計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1	イ	劇場等														
	ロ	公会堂等		1					1							2
2	イ	キャバレー等														
	ロ	遊技場等														
	ハ	風俗営業を営む店舗等														
	ニ	カラオケボックス等														
3	イ	待合・料理店等														
	ロ	飲食店等								1					1	2
4		百貨店等			1	1	1			3	1				1	8
5	イ	旅館等				1										1
	ロ	寄宿舎等							1							1
6	イ	病院等										1				1
	ロ	入所施設等														
	ハ	通所施設等				2				1		1		3	2	9
	ニ	幼稚園等														
7		学校等														
8		図書館等														
9	イ	蒸気・熱気浴場等														
	ロ	公衆浴場等														
10		車両の停車場等														
11		神社・寺院等														
12	イ	工場及び作業場等						1				1		1		3
13	イ	自動車車庫又は駐車場														
14		倉庫													1	1
15		前各項に該当しない事業場		2	1							4				7
16	イ	特定を含む複合用途物			1							2				3
	ロ	特定以外			1											1
17		指定文化財等														
18		アーケード														
計				3	4	4	2	2	5	3	7		4	5	39	



## 12 各種届出処理件数

R2. 4. 1～R3. 3. 31

関 連 条 文	届 出 種 別	件数
消 防 法 第8条	防火管理者選任解任届	97
消 防 法 第8条の2の2	防火対象物点検結果報告書	53
” 第9条の3	液化石油ガス、圧縮アセチレンガス貯蔵取扱い届	12
” 第17条の3の2	消防用設備等設置届	126
” 第17条の3の3	消防用設備等点検結果報告書	738
消 防 法 施行規則第3条	消防計画	109
” ” 第10項 令第3条の2第2項	消防訓練実施届	498
” 施行規則第33条の18	消防用設備等着工届	46
火災予防条例 第43条	防火対象物使用開始届	39
” 第44条 第5号	ボイラー又は入力70キロワット以上の給湯湯沸設備	30
” ” 第9号	高圧又は特別高圧の変電設備	13
” ” 第11号	内燃機関による発電設備	8
” ” 第12号	蓄電池設備	12
” ” 第14号	水素ガスを充てんする気球	
” 第45条 第1号	火災とまぎらわしい行為の届	6
” ” 第2号	煙火打上げ、仕掛け届	17
” ” 第3号	催物開催届	3
” 第46条	少量危険物の貯蔵取扱い届	貯蔵13

### 13 数量別危険物施設

R3.4.1現在

数量別 製造所等の別	製造所	貯蔵所								取扱所						合計	
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	自家用給油	第一種販売	第二種販売	移送	一般		小計
5倍以下		4	8	3	10		25		50	1					11	12	62
5倍を超え～10倍以下		4	6		8		2		20		3				3	6	26
10〃～50〃		5	9		4		10		28	1	9				5	15	43
50〃～100〃					1		5		6	7					3	10	16
100〃～150〃		1	2						3	5						5	8
150〃～200〃									0	7						7	7
200〃～1,000〃	2		2						2	7						7	11
1,000〃～5,000〃			13						13						2	2	15
5,000〃～10,000〃			3						3							0	3
10,000倍を超えるもの									0					1		1	1
合計	2	14	43	3	23		42		125	28	12			1	24	65	192

## 14 地域別危険物施設状況

R3.4.1現在

製造所等の別 地域別	計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					そ の 他	
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	自 家 用 給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送		一 般
出 水	133	2	13	32	2	12	0	27	0	19	8	0	0	1	17	0
高 尾 野	44	0	1	6	1	9	0	12	0	6	3	0	0	0	6	0
野 田	15	0	0	5	0	2	0	3	0	3	1	0	0	0	1	0
計	192	2	14	43	3	23	0	42	0	28	12	0	0	1	24	0

## 15 危険物施設に対する立入検査の状況

R2.4.1 ~ R3.3.31

製造所等の別		施設数	延回数
製 造 所		2	0
貯 蔵 所	屋 内	14	4
	屋 外タンク	43	11
	屋 内タンク	3	2
	地 下タンク	23	11
	簡 易タンク	0	0
	移 動タンク	42	26
	屋 外	0	0
小 計		125	54
取 扱 所	給 油	28	13
	自家用給油	12	5
	第一種販売	0	0
	第二種販売	0	0
	移 送	1	0
	一 般	24	9
小 計		65	27
合 計		192	81

# 16 危険物施設許認可事務処理状況

R2.4.1 ~ R3.3.31

製造所等の別 項目別	計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					そ の 他	
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	自 家 用 給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送		一 般
設 置 許 可	5	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0
完 成 検 査	9	0	1	1	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	1	0
変 更 許 可	7	2	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	1	0
変 更 完 成 検 査	8	2	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	1	0
水 圧 検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 張 検 査	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
加 圧 検 査	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
基 礎 ・ 地 盤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
溶 接 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種 類 数 量 変 更 届	3	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
名 義 名 称 変 更 届	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
譲 渡 引 渡 届	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
保 安 監 督 者 選 任 届	9	0	2	2	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0
保 安 監 督 者 解 任 届	7	0	1	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
製 造 所 等 の 廃 止 届	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
仮 使 用 仮 貯 蔵 (取 扱)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
計	58	5	4	5	0	3	0	13	0	13	5	0	0	0	8	2

# 17 月別危険物規制事務取扱状況

R2. 4. 1 ~ R3. 3. 31

項目 月	設置	変更	完成検査	水張	水圧	加圧	基礎地盤	溶接部	仮使用	仮貯蔵 仮取扱	完成検査済証 再交付	計
4月	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
5月	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
6月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7月	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
8月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9月	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
10月	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
11月	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6
12月	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4
1月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	2	1	3	1	0	0	0	0	1	0	0	8
計	5	7	17	2	0	2	0	0	1	2	0	36

# 18 危険物関係消防事務手数料徴収調べ

R2.4.1 ~ R3.3.31 (単位:円)

区分	種別	仮 貯 蔵	仮 取 扱	仮 使 用	条例に基づく危険物製造所等の申請手数料								完成 検査 済証 再交 付	合 計
					許 可		完 成 検 査		完 成 検 査 前 検 査					
					設 置	変 更	設 置	変 更	水 張	加 圧	基 礎 地 盤	溶 接 部		
製造所	件	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4	
	料	0	0	0	92,000	0	46,000	0	0	0	0	0	138,000	
貯 内	件	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	料	0	0	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	
貯 外	件	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	料	5,400	0	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	15,400	
蔵 内	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
蔵 下	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
所 動	件	0	0	3	1	3	1	0	0	0	0	0	8	
	料	0	0	91,000	13,000	45,500	6,500	0	0	0	0	0	156,000	
所 外	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
取 扱 所	給 油	件	1	1	0	3	1	5	0	1	0	0	12	
	料	5,400	5,400	0	78,000	26,000	65,000	0	11,000	0	0	0	190,800	
一 般	件	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	5	
	料	0	0	52,000	19,500	26,000	9,750	0	11,000	0	0	0	118,250	
合 計	件	2	1	4	7	7	9	0	2	0	0	0	32	
	料	10,800	5,400	143,000	202,500	117,500	127,250	0	22,000	0	0	0	628,450	

火

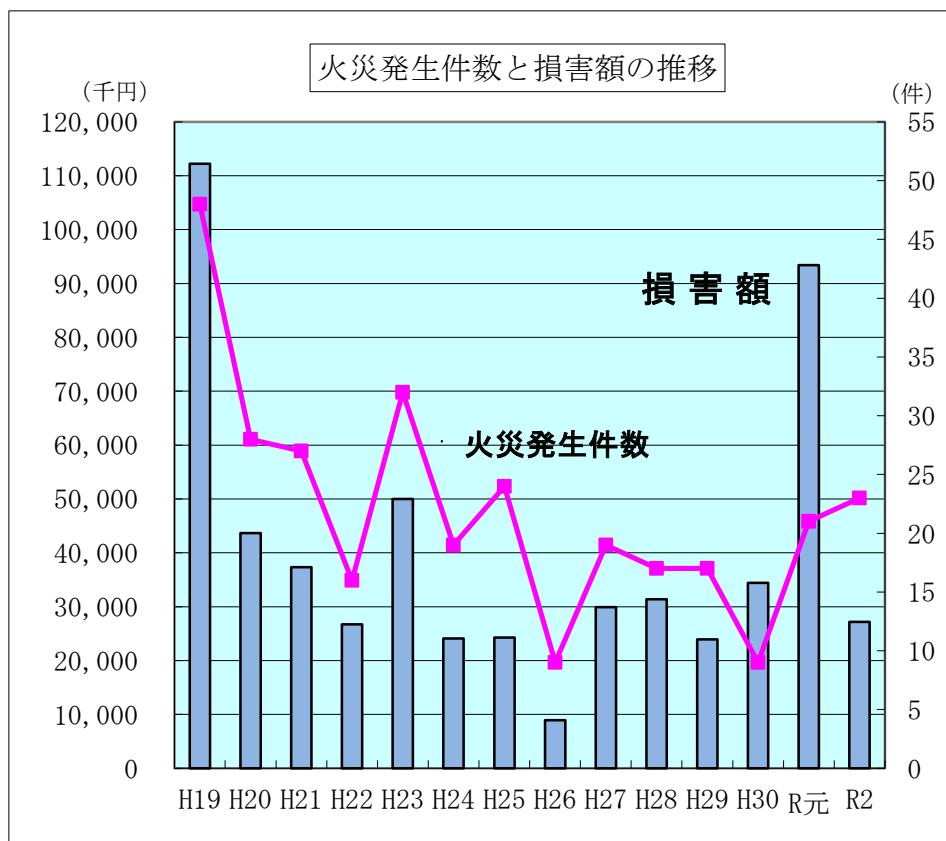
災

# 1 火災統計グラフ

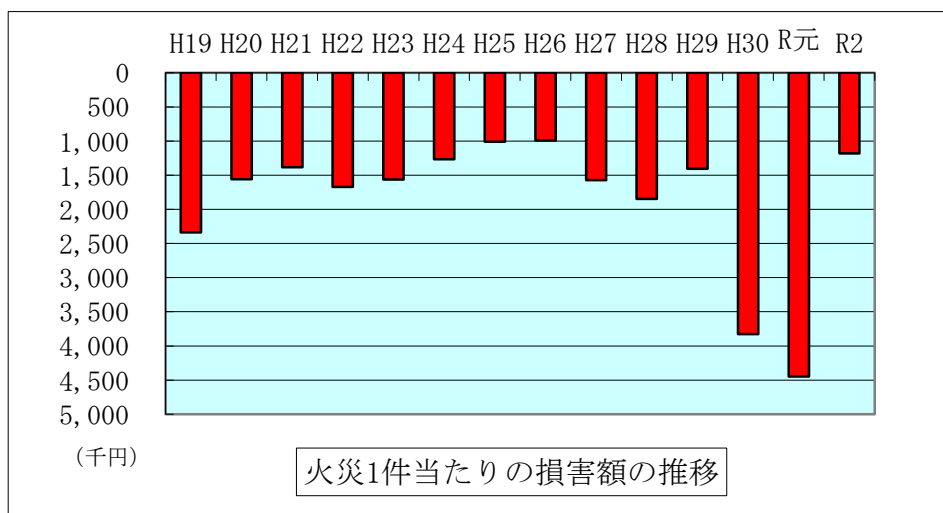
R2.1.1 ~ R2.12.31

## 火災発生件数及び損害額の推移

	損害額 (千円)	火災発生 件数
H19	112,256	48
H20	43,692	28
H21	37,318	27
H22	26,726	16
H23	49,974	32
H24	24,085	19
H25	24,289	24
H26	8,939	9
H27	29,915	19
H28	31,381	17
H29	23,912	17
H30	34,452	9
R元	93,391	21
R2	27,163	23



火災1件当たりの損害額 (千円)	
H19	2,339
H20	1,560
H21	1,382
H22	1,670
H23	1,562
H24	1,268
H25	1,012
H26	993
H27	1,574
H28	1,846
H29	1,407
H30	3,828
R元	4,447
R2	1,181





## 2 火災概況

R2.1.1 ~ R2.12.31

- |                    |      |                            |
|--------------------|------|----------------------------|
| (1) 出火件数           | 23件  | (建物10件、林野1件、車両2件、その他10件)   |
| (2) 焼損棟数           | 住家   | 11棟 (全焼5棟、部分焼4棟、ぼや2棟)      |
|                    | 非住家  | 12棟 (全焼8棟、半焼1棟、部分焼1棟、ぼや2棟) |
| (3) 焼損面積           | 建物   | 床面積1,335㎡ 表面積27㎡ 林野0.66a   |
| (4) 被災世帯数          | 8世帯  |                            |
| (5) 被災者数           | 13人  |                            |
| (6) 死傷者数           | 負傷者  | 3人                         |
| (7) 損害額            | 建物   | 14,606千円                   |
|                    | イ建物  |                            |
|                    | ロ内容物 | 11,592千円                   |
|                    | 車両   | 281千円                      |
|                    | その他  | 684千円                      |
|                    | 合計   | 27,163千円                   |
| (8) 建物火災1回当たりの焼損面積 | (床)  | 133.5㎡                     |
|                    | (表)  | 2.7㎡                       |
| (9) 火災1件当たりの損害額    |      | 1,181千円                    |
| (10) 市民1人当たりの損害額   |      | 512円                       |
- (令和3.1.1現在 53,091人)

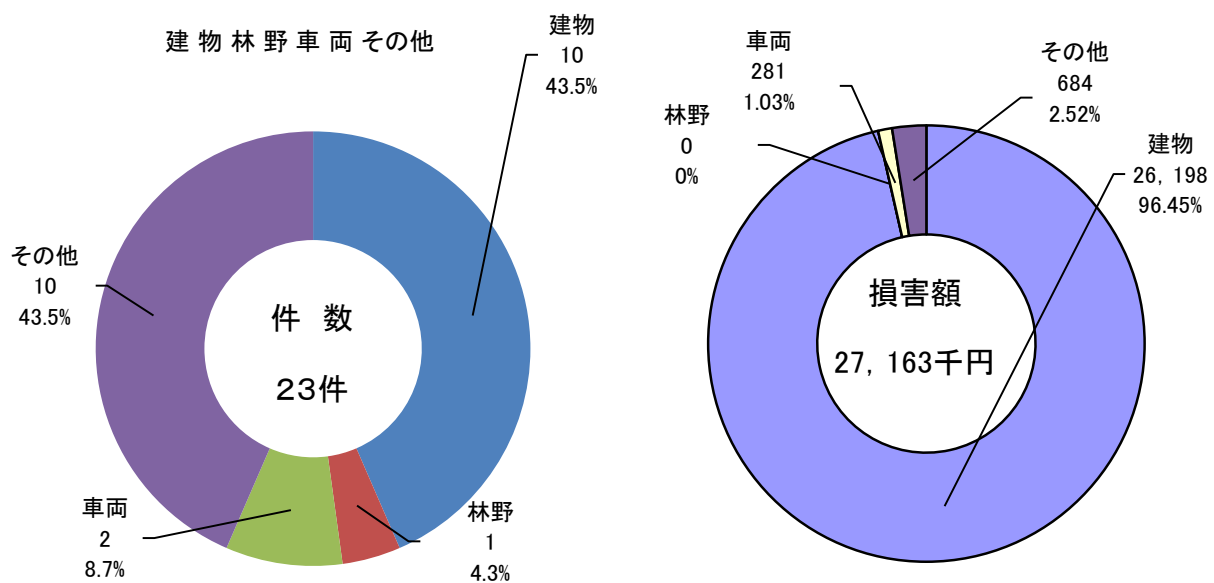


#### 4 地域別火災発生件数と損害額

R2.1.1 ~ R2.12.31

月	発生件数	地 域 別			損 害 額 (千円)
		出水	高尾野	野田	
1	2	1		1	233
2	2	2			134
3	2	2			2,693
4	3	2	1		90
5	2	1	1		2,318
6					
7					
8	2	1	1		7,818
9	3	2	1		58
10	2	2			580
11	2	2			6,278
12	3	3			6,961
合 計	23	18	4	1	27,163

#### 5 火災種別発生件数と損害額



## 6 原因別火災発生件数

R2.1.1 ~ R2.12.31

順位	発生原因	地域別			計
		出水	高尾野	野田	
1	たき火	4	3		7
2	その他	3			3
3	焼却炉	2			2
3	ストーブ	2			2
5	煙突・煙道	1			1
	不明調査中	6	1	1	8
	計	18	4	1	23

## 7 建築物用途別火災発生件数

R2.1.1 ~ R2.12.31

区分 用途別	焼損棟数	死傷者		損害額 (千円)	焼損積 面積 (m <sup>2</sup> )	1棟当たり 損害額 (千円)
		死者	傷者			
住家	11		3	20,524	(床) 743 (表) 24	1,866
倉庫	1			221	(床) 30	221
置場	2			87	(床) 31	44
納屋	6			2,385	(床) 240 (表) 3	398
車庫付き納屋	1			610	(床) 115	610
店舗	1			0		
作業所	1			2,371	(床) 176	2,371
計	23			26,198	(床) 1335 (表) 27	1,139

## 8 月別、時間別火災発生件数

R2.1.1 ~ R2.12.31

時 間	月 別												計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
0 ~ 1														
1 ~ 2		1												1
2 ~ 3														
3 ~ 4			1											1
4 ~ 5														
5 ~ 6														
6 ~ 7														
7 ~ 8	1													1
8 ~ 9														
9 ~ 10									1					1
10 ~ 11	1													1
11 ~ 12		1												1
12 ~ 13					1			1			1			3
13 ~ 14										1				1
14 ~ 15														
15 ~ 16										1				1
16 ~ 17			1	1								2		4
17 ~ 18				1										1
18 ~ 19									1		1	1		3
19 ~ 20														
20 ~ 21														
21 ~ 22														
22 ~ 23														
23 ~ 24														
不 明				1	1			1	1					4
合 計	2	2	2	3	2			2	3	2	2	3		23

## 9 曜日別火災発生件数

R2. 1. 1 ~ R2. 12. 31

月別 \ 曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
1		2							2
2			1		1				2
3					1		1		2
4				2	1				3
5				1	1				2
6									
7									
8					1		1		2
9			1	2					3
10	1					1			2
11	1			1					2
12	2	1							3
計	4	3	2	6	5	1	2		23

# 10 気象別火災発生件数

R2.1.1 ~ R2.12.31

気象別		月別												計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
天 気	晴		2	1	3	2			1	1	2	1	3	16	
	曇	1		1					1	2		1		6	
	雨	1												1	
	不明														
計		2	2	2	3	2			2	3	2	2	3	23	
風 速	0			1		1				1				3	
	1									1		1	1	3	
	2		1		1				2				2	6	
	3				1	1				1				3	
	4			1	1									2	
	5	1	1								1			3	
	6											1		1	
	7										1			1	
	8														
	9														
	m/s	10以上	1												1
	不明														
計		2	2	2	3	2			2	3	2	2	3	23	
風 向	無風			1										1	
	東					1				1				2	
	西				1									1	
	南		1											1	
	北	1	1								1			3	
	北西				1				1				1	3	
	北東														
	南西														
	南東	1								1		2		4	
	北北西					1			1	1			1	4	
	北北東										1		1	2	
	南南西														
	南南東														
	西南西														
	西北西			1	1									2	
東南東															
東北東															
不明															
計		2	2	2	3	2			2	3	2	2	3	23	

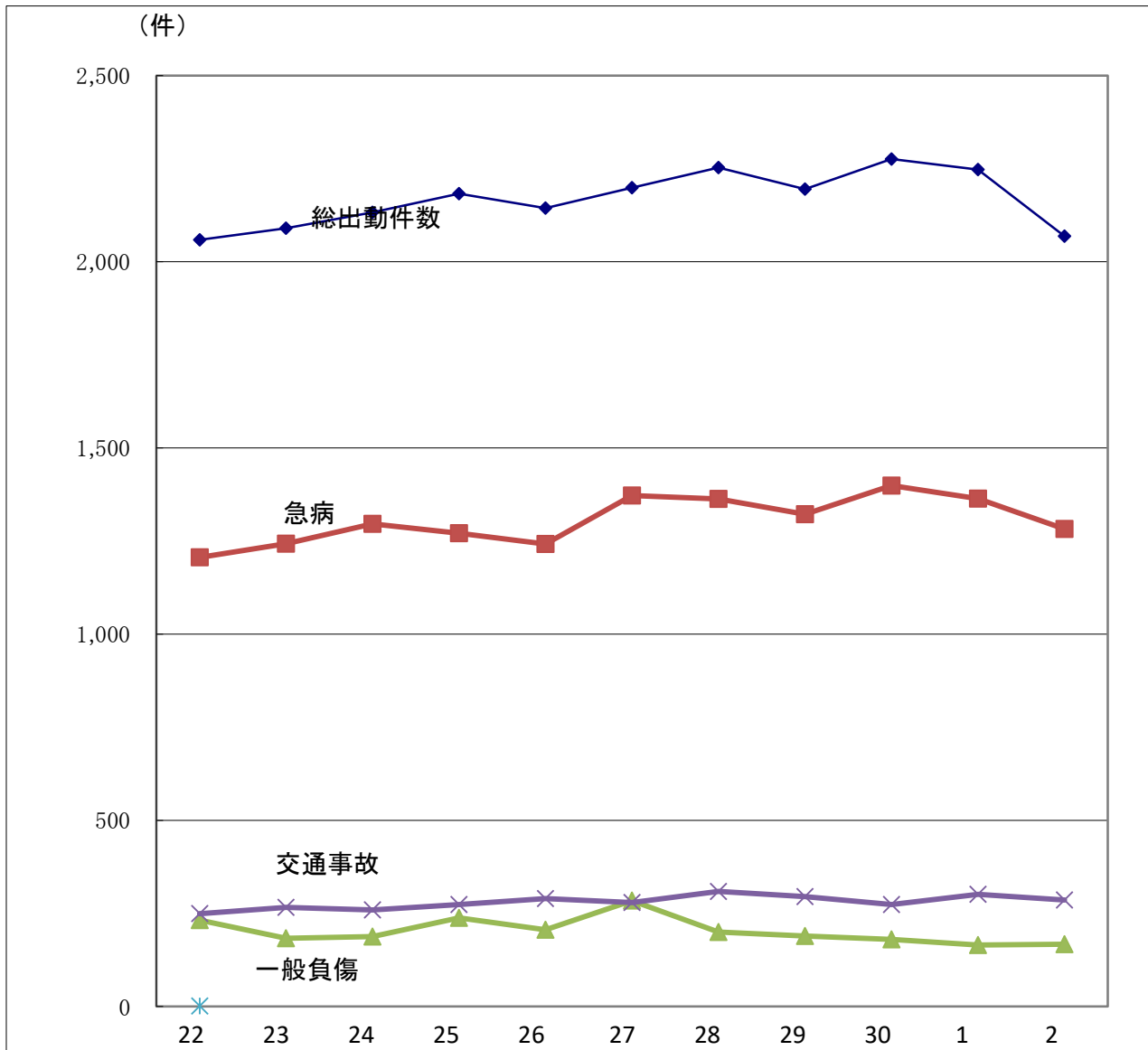
救

急



# 1. 年次別救急活動状況

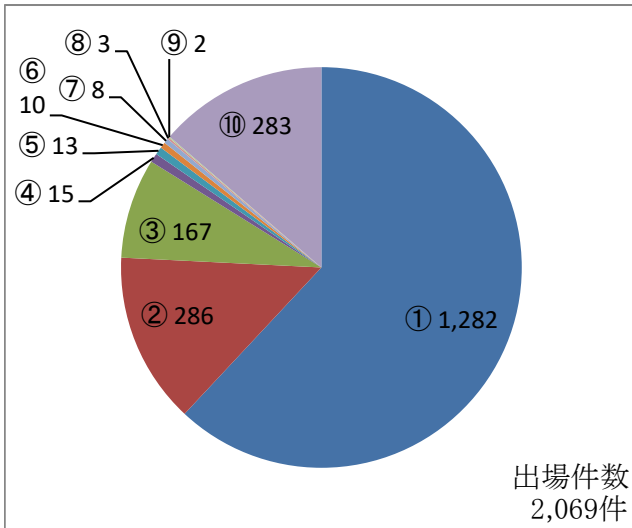
平成22年～令和2年



区分		年次別										
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2
総件数	出場件数	2,059	2,090	2,133	2,183	2,144	2,199	2,253	2,195	2,276	2,248	2,069
	搬送人員	1,912	1,952	1,928	2,003	1,932	1,984	2,042	1,998	2,083	2,085	1,913
急病	出場件数	1,206	1,243	1,296	1,271	1,242	1,372	1,363	1,322	1,399	1,364	1,282
	搬送人員	1,103	1,132	1,129	1,141	1,090	1,223	1,231	1,200	1,278	1,254	1,197
交通事故	出場件数	232	183	188	238	206	284	200	189	180	165	167
	搬送人員	254	202	201	248	212	178	201	176	159	159	148
一般負傷	出場件数	249	266	259	274	290	279	309	295	274	301	286
	搬送人員	221	247	238	243	259	249	276	267	251	282	263

## 2. 救急事故種別出場件数

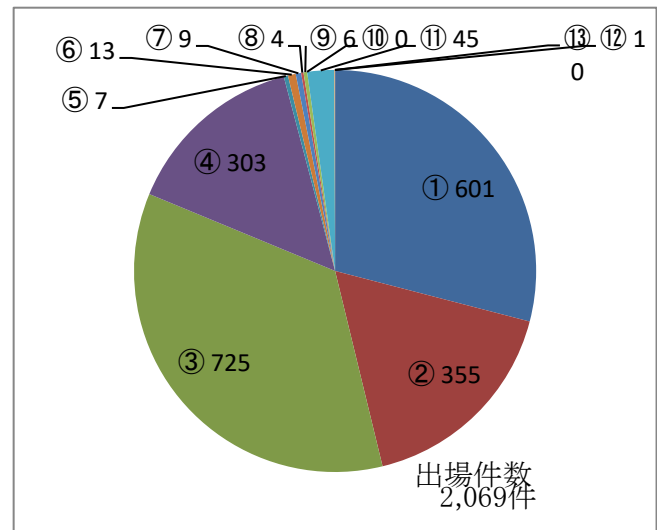
R2. 1. 1 ~ R2. 12. 31



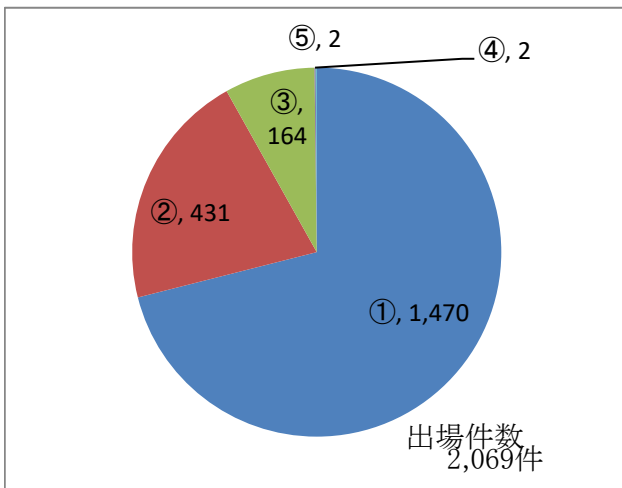
① 急病	1,282 件	62.0%
② 一般負傷	286 件	13.8%
③ 交通事故	167 件	8.1%
④ 自損行為	15 件	0.7%
⑤ 労働災害	13 件	0.6%
⑥ 運動競技	10 件	0.5%
⑦ 加害	8 件	0.4%
⑧ 水難	3 件	0.1%
⑨ 火災	2 件	0.1%
⑩ その他	283 件	13.7%

## 3. 覚知別救急出場件数

① 専用電話	601 件	29.0%
② 加入電話	355 件	17.2%
③ 携帯119	725 件	35.0%
④ NTT-IP	303 件	14.6%
⑤ テレコム	7 件	0.3%
⑥ 駆けつけ	13 件	0.6%
⑦ 消防無線	9 件	0.4%
⑧ 携帯転送	4 件	0.2%
⑨ 救急無線	6 件	0.3%
⑩ 警察電話	0 件	0.0%
⑪ KDDI	45 件	2.2%
⑫ 自己覚知	1 件	0.0%
⑬ その他	0 件	0.0%



## 4. 地域別救急出場件数



① 出水	1,470 件	65.4%
② 高尾野	431 件	19.2%
③ 野田	164 件	7.3%
④ さつま町	2 件	0.1%
⑤ 阿久根市	2 件	0.1%

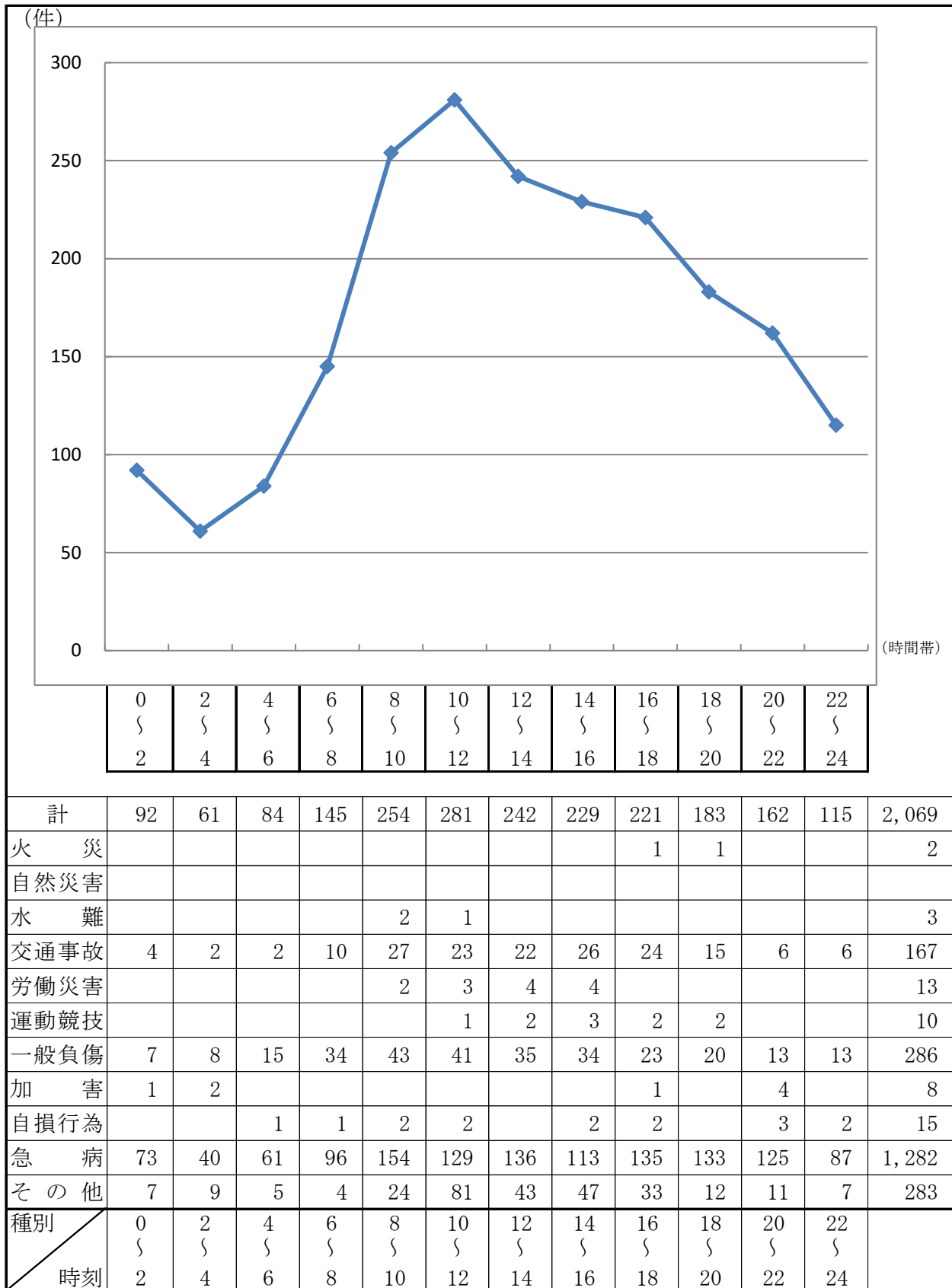
## 5. 月別救急事故件数

R2. 1. 1 ~ R2. 12. 31  
(単位：件)

月 区 分		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
出 場 件 数		204		186		146		138		153		173		173		208		186		154		171		177		2,069	
不 搬 送		19		19		12		12		8		12		9		15		21		8		13		19		167	
搬 送	取扱件数	185		167		134		126		145		161		164		193		165		146		158		158		1,902	
	搬送人員		186		168		134		126		146		162		164		196		167		146		159		159		1,913
火 災																						1	1	1	1	2	2
自 然 災 害																											
水 難														1	1											1	1
交 通 事 故		10	11	20	21	12	12	15	15	5	6	18	19	12	12	6	7	13	15	12	12	7	7	10	11	140	148
労 働 災 害		1	1			2	2	1	1			1	1	2	2			2	2	1	1	1	1	1	1	12	12
運 動 競 技		1	1									2	2	1	1	2	2	3	3					1	1	10	10
一 般 負 傷		28	28	24	24	18	18	18	18	23	23	26	26	20	20	23	23	23	23	15	15	28	28	17	17	263	263
加 害				1	1	1	1			2	2			2	2					1	1					7	7
自 損 行 為		1	1	2	2			1	1	4	4	1	1	1	1	1	1							1	1	12	12
急 病		114	114	97	97	82	82	74	74	95	95	82	82	105	105	139	141	101	101	98	98	101	102	106	106	1,194	1,197
そ の 他		30	30	23	23	19	19	17	17	16	16	31	31	21	21	21	21	23	23	19	19	20	20	21	21	261	261

## 6. 時間別救急出場件数

R2. 1. 1 ~ R2. 12. 31



## 7. 曜日別救急搬送人員調べ

R2.1.1 ~ R2.12.31

(単位：人)

76

種 別 \ 曜 日	月	火	水	木	金	土	日	計
火 災	1						1	2
自 然 災 害								0
水 難				1				1
交 通 事 故	19	29	22	20	18	21	19	148
労 働 災 害	1	2	5	2	1	1		12
運 動 競 技	1	1		3		1	4	10
一 般 負 傷	40	39	37	35	34	44	34	263
加 害	2	2		1	1		1	7
自 損 行 為	3	1	1	1	4	1	1	12
急 病	170	171	171	174	144	164	203	1,197
そ の 他	26	51	49	39	40	33	23	261
計	263	296	285	276	242	265	286	1,913

8. 事故種別医療機関別搬送人員調べ

R2. 1. 1 ~ R2. 12. 31  
(単位：人)

77

告示の別等	開設者別		事故種別等				
	急	病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計	
救急告示	国	立				5	5
	公	立	1,106	137	248	189	1,680
	公	的	1			35	36
	私 的	病 院	50	6	10	68	134
		診 療 所					0
小 計		1,157	143	258	297	1,855	
その他の	国	立				4	4
	公	立	4		1		5
	公	的					
	私 的	病 院	5			2	7
		診 療 所	31	5	4	2	42
小 計						58	
計	国	立	0	0	0	9	9
	公	立	1,110	137	249	189	1,685
	公	的	1	0	0	35	36
	私 的	病 院	55	6	10	70	141
		診 療 所	31	5	4	2	42
小 計		1,197	148	263	305	1,913	
そ の 他 の 場 所							
合 計			1,197	148	263	305	1,913

## 9. 年齢別事故種別搬送人員調べ

R2. 1. 1 ~ R2. 12. 31

(単位：人)

78

年齢別 \ 事故別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児 (生後28日未満)										2	14	16
乳幼児 (生後28日以上満7歳未満)				1			8			24	4	37
少年 (満7歳以上満18歳未満)				16		8	7			31	1	63
成人 (満18歳以上満65歳未満)				76	10	2	34	6	6	308	60	502
高齢者 (満65歳以上)	2		1	55	2		214	1	6	832	182	1,295
合計	2			148	12	10	263	7	12	1,197	261	1,913

# 10. 傷病程度別搬送状況

R2. 1. 1 ~ R2. 12. 31

(単位：人)

79

事故種別 程度 性別		火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	そ	小 計	合 計
		災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	他		
死 亡	男			1				2		4	20		27	45
	女							2			15	1	18	
重 症	男				5	5		6		1	58	28	103	166
	女				2			6			30	25	63	
中 等 症	男	1			15	1	1	25	2		249	103	397	791
	女				13			70		3	208	100	394	
軽 症	男	1			56	5	8	76	3	1	304	2	456	911
	女				57	1	1	76	2	3	313	2	455	
そ の 他	男													
	女													
合 計		2	0	1	148	12	10	263	7	12	1, 197	261	1, 913	1, 913

## 傷病程度の分類

- 死 亡 と は 初診時において死亡が確認されたもの。
- 重 症 と は 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 中 等 症 と は 傷病の程度が重症又は軽症以外のもの。
- 軽 症 と は 傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
- そ の 他 と は 医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの。



## 11. ヘリ搬送運航状況

R2.1.1 ~ R2.12.31

### 要請件数

ヘリ種別	受諾件数				要請不応需						合計
	現場搬送	施設間搬送	その他	ミッション中止	日没制限	時間外要請	天候不良	重複要請	機体整備	その他 (適用外)	
ドクターヘリ	18	12		9			1	9	1		50
補完ヘリ	6	1		1				1			9
防災ヘリ			1								1
その他											0
合計	24	13	1	10	0	0	1	10	1	0	60

※ 現場出動: 救急現場及びその近隣の臨時ヘリポートへの出動

※ 施設間搬送: 医療機関から医療機関への患者搬送

⊗ ※ その他 (Dr.デリバリー等): 緊急医療品・資機材搬送、臓器搬送、Dr.デリバリーなど

※ ミッション中止: いったん要請を受託したが、何らかの理由で傷病者の診療に至らなかったケース。

### 事故種別ごとの搬送件数

ヘリ種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
ドクターヘリ				10	3		5			9	12	39
補完ヘリ				4	1		1			1	1	8
防災ヘリ											1	1
その他												0
合計	0	0	0	14	4	0	6	0	0	10	14	48

消 防 団 ・ 自 衛 消 防 隊  
女 性 防 火 ク ラ ブ  
少 年 消 防 ク ラ ブ  
幼 年 消 防 ク ラ ブ

## 1 出水市消防団現勢

R3.4.1

人 員		機 材		
定 員	実 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車
人	人	台	台	台
441	436	13	12	12

## 2 消防団員の階級別配置状況

R3.4.1

団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
1	4	11	11	26	50	333	436

## 3 消防団幹部一覧表

R3.4.1

役 職 等 名	氏 名	
団 本 部	団 長	尾野島 俊 光
	副 団 長	迫 口 信 幸
		福 嶋 美 文
		坂 木 良 次
		平 井 浩 二
分 団	第 1 分 団 長	南 恭 二
	第 2 分 団 長	宮 元 真 一
	第 3 分 団 長	栢 山 卓 二
	第 4 分 団 長	一住連 正 志
	第 5 分 団 長	井 川 透
	第 6 分 団 長	井 上 信 一
	第 7 分 団 長	井手尾 政 弘
	第 8 分 団 長	湯 田 弘 太
	第 9 分 団 長	軸 藺 俊 介
	第 10 分 団 長	野 添 輝 夫
	第 11 分 団 長	中 村 勝

#### 4 消防団員の年齢

R3.4.1

階級別	年齢別									
	20 歳 未 満	20 〜 24	25 〜 29	30 〜 34	35 〜 39	40 〜 44	45 〜 49	50 〜 54	55 歳 以 上	計
団 長									1	1
副 団 長									4	4
分 団 長							2	2	6	10
副 分 団 長						2	3	4	2	11
部 長					1	6	9	4	6	26
班 長					12	13	11	11	3	50
団 員		10	28	51	71	79	46	26	22	333
計		10	28	51	84	100	71	47	44	435

(全体平均 42.2歳)

#### 5 消防団員の階級別在職年数

R3.4.1

階級別	在職年数別							計
	5 年 未 満	5 〜 9	10 〜 14	15 〜 19	20 〜 24	25 〜 29	30 年 以 上	
団 長							1	1
副 団 長							4	4
分 団 長				1	1	4	5	11
副 分 団 長				2	3	4	2	11
部 長			2	15	4	3	2	26
班 長		4	14	21	8	2	1	50
団 員	90	88	66	47	21	19	2	333
計	90	92	82	86	37	32	17	436

## 6 消防団員の職業構成

R3.4.1

計	職 業 構 成					就 業 形 態				
	公 務 員					被用者	自営業者	家族従事者	その他	
	国家公務員	日本郵政 グループ	地方公務員	特殊法人等公務 員に準ずる職員	その他				うち学生	
436	0	3	53	18	362	309	77	23	27	0

## 7 消防団員の年報酬

R3.4.1(単位:円)

階 級	団 長	副団長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年 報 酬 額	160,000	130,000	85,000	60,000	53,000	50,000	47,000

## 8 消防団員の諸手当

R3.4.1

種 類	水・火災出動	警 戒・訓 練	そ の 他
諸 手 当	4時間以内をもって 1回 5,000円	1回につき 5,000円	幹部会、その他の会議 1日につき 5,000円 機関員手当年 14,400円

## 9 消防団の消防機材

### (1) 消防ポンプ自動車

R3.4.1

分団名	車名	登録 年月日	ポンプ 種類	放水 能力	車両 重量	吸管 種類	梯子の 種類	全長	幅員 高さ	積載 ホース
第1分団	三菱	H13.8.20	吉谷	A2	3,910 <sup>(kg)</sup>	軽量	アルミ製 折タタミ	5.20 <sup>(m)</sup>	1.90 <sup>(m)</sup> 2.39	30 <sup>(本)</sup>
第2分団	三菱	H13.8.20	吉谷	A2	3,910	軽量	アルミ製 折タタミ	5.20	1.90 2.39	30
第3分団	三菱	H20.3.19	ナカム ラ消防 化学	A2	4,420	軽量	ステンレス製 折タタミ	5.25	1.89 2.65	30
第4分団	日野	R2.3.19	ナカム ラ消防 化学	A2	4,160	軽量	アルミ製 折タタミ	5.20	1.89 2.48	30
第5分団	三菱	H13.8.20	吉谷	A2	3,910	軽量	アルミ製 折タタミ	5.20	1.90 2.39	30
第6分団	日野	H26.2.26	ナカム ラ消防 化学	A2	4,000	軽量	アルミ製 折タタミ	5.20	1.89 2.45	30
第7分団	日野	H26.10.27	ナカム ラ消防 化学	A2	3,950	軽量	アルミ製 折タタミ	5.23	1.89 2.46	30
第8分団 1号車部	日野	H25.2.26	日本 機械	A2	3,880	軽量	鉄製 折タタミ	5.14	1.90 2.62	28
第8分団 2号車部	トヨタ	H27.10.16	日本 機械	A2	3,890	軽量	鉄製 折タタミ	5.22	1.91 2.61	30
第9分団 2号車部	日野	H31.3.27	イズミ 商事	A2	3,960	軽量	アルミ製 2連	5.20	1.88 2.47	30
第10分団 1号車部	日野	H26.2.26	ナカム ラ消防 化学	A2	4,000	軽量	アルミ製 折タタミ	5.23	1.89 2.41	30
第10分団 2号車部	三菱	H19.3.7	日本 機械	A2	4,070	軽量	アルミ製 2連	5.15	1.87 2.43	30
第11分団 自動車部	日野	H18.3.27	森田	A2	3,660	軽量	アルミ製 2連	5.22	1.88 2.49	30

## (2) 小型動力ポンプ積載車

R3.4.1

分団名	小型動力ポンプ			積 載 車				
	種 類	購 入 年月日	出 力	車 名	型 式	登 録 年月日	総 排 気 量	積 載 ホース
第3分団 第2部	シバウラ	H27. 7.28	43 (kw)	トヨタ	H8 (年)	H8.12.18	1.99 (L)	20 (本)
第3分団 第3部	トーハツ	H28. 7.28	22	トヨタ	H9	H9.12.10	1.99	20
第4分団 第2部	トーハツ	H28. 7.28	22	トヨタ	R3	R3.3.11	1.99	20
第4分団 第3部	シバウラ	H29. 8.31	32	トヨタ	H10	H10.12.7	1.99	20
第5分団 第2部	シバウラ	H29. 8.31	32	ニッサン	R3	R3.3.12	1.99	20
第5分団 第3部	トーハツ	H28. 7.28	22	トヨタ	H8	H8.12.18	1.99	20
第6分団 第2部	ラビット	H24. 6. 7	40	トヨタ	H9	H9.12.5	1.99	20
第7分団 第2部	ラビット	H25. 6.28	46	ニッサン	R3	R3.3.12	1.99	20
第7分団 第3部	シバウラ	H30.12. 7	32	トヨタ	H9	H9.12.10	1.99	20
第9分団 1号車部	トーハツ	H30. 1.30	22	トヨタ	H29	H30.1.24	1.99	20
第11分団 上名部	シバウラ	H27. 7.28	43	トヨタ	H8	H18.3.27	1.99	20
第11分団 下名部	トーハツ	H26.8.25	22	トヨタ	H8	H18.3.27	1.99	20

## 10 自治会自衛消防隊

(1) 桂島自衛消防隊

人員 12人(隊長:川元谷男)

機材 小型動力ポンプ2台 ホース20本  
ホース10本(40mm)

(2) 上場自衛消防隊

人員 37人(隊長:大毛茂)

機材 小型動力ポンプ1台 ホース20本

(3) 福ノ江港自衛消防隊

人員 19人(隊長:中村優介)

機材 小型動力ポンプ1台 ホース20本



## 11 女性防火クラブ

R3.4.1

	ク ラ ブ 名	所 在 地	人 員
1	福ノ江港女性防火クラブ	出水市汐見町（福ノ江港自治会）	6（人）
2	太田女性防火クラブ	〃 上鯖渕（太田自治会）	41
計			47

## 12 少年消防クラブ

R3.4.1

	ク ラ ブ 名	所 在 地	人 員
1	出水小学校少年消防クラブ	出水市麓町9番13号	12（人）
2	西出水ソフトテニス少年消防クラブ （西出水小学校）	〃 西出水町1045番地	10
3	出水サッカークラブ少年消防クラブ （東出水小学校）	〃 上鯖渕1866番地	14
4	切通小学校少年消防クラブ	〃 境町1286番地	12
5	鶴荘学園少年消防クラブ	〃 荘1748番地	13
6	高尾野小学校少年消防クラブ	〃 高尾野町柴引1559番地	11
7	野田小学校少年消防クラブ	〃 野田町上名375番地	16
計			88

## 13 幼年消防クラブ

R3.4.1

	ク ラ ブ 名	所 在 地	人 員
1	太陽の子鹿島こども園幼年消防クラブ	出水市知識町299番地	65（人）
2	沖田保育園幼年消防クラブ	〃 黄金町811番地	19
3	えいふく保育園幼年消防クラブ	〃 下鯖町1520番地	16
4	だるま保育園幼年消防クラブ	〃 麓町1459番地	50
5	わかたけ保育園幼年消防クラブ	〃 五万石町980番地	58
6	もみじこども園幼年消防クラブ	〃 高尾野町柴引2061番地	21
7	認定こども園 慈光幼稚園幼年消防クラブ	〃 高尾野町柴引2055番地1	42
計			271

表

彰

# 1 消防職員の被表彰状況

(人)

88

区分 年度	消表 防 庁 長 官 彰	日本消防協会			全国消防長会					全国消防協会		鹿児島県消防協会					
		功 績 章	精 績 章	勤 続 章	永年勤続功労章					功 労 章	全 国 優 良 消 防 職 員 表 彰	消 防 機 械 器 具 等 の 改 善	功 績 章	精 績 章	勤 続 章		出 水 支 部 長 表 彰
					40 年	35 年	30 年	25 年	20 年						30 年	20 年	
令和元年度以前	22	14	33	53	9	12	56	43	70	4	2	2	69	74	31	42	81
令和2年度分	1	0	0	0	0	H19 以降 廃止	3	H19 以降 廃止	0	0	1	0	0	2	H17 以降 廃止	H17 以降 廃止	0
合計	23	14	33	53	9		59		70	4	3	2	69	76			81

## 2 消防団員の令和2年度表彰一覧表

種 別	所 属	階 級	氏 名
消防団員退職者 1号報償 (5名)	第 1 1 分 団	分 団 長	松田 祐一
	第 1 分 団	副 分 団 長	竹林 英久
	第 5 分 団 第 2 部	部 長	山下 秀一
	第 5 分 団 第 3 部	部 長	土持 和男
	第 6 分 団 自 動 車 部	班 長	山口 秀紀
消防団員退職者 2号報償 (7名)	第 4 分 団	分 団 長	田中 伸二
	第 9 分 団	分 団 長	笹野 敏雄
	第 7 分 団 第 2 部	班 長	高木 克利
	第 3 分 団 第 3 部	班 長	吉留 隆志
	第 4 分 団 第 2 部	班 長	牧尾 朋樹
	第 8 分 団 1 号 車 部	班 長	松ヶ野 和俊
	第 6 分 団 第 2 部	団 員	本川 亮二
消防庁長官表彰 永年勤続功労章	団 本 部	団 長	尾野島 俊光
日本消防協会 会長表彰功績章	団 本 部	副 団 長	坂木 良次
日本消防協会 会長表彰精績章 (2名)	団 本 部	副 団 長	迫口 信幸
	第 6 分 団	分 団 長	井上 信一
日本消防協会 会長表彰勤続章 (4名)	団 本 部	副 団 長	福嶋 美文
	第 1 0 分 団	分 団 長	野添 輝夫
	第 6 分 団 第 2 部	班 長	稲田 満穂
	第 5 分 団 自 動 車 部	団 員	沖洲 昭博
県消防協会 総裁表彰 功績章 (15名)	第 7 分 団	分 団 長	小村 一美
	第 2 分 団	副 分 団 長	谷川 清二
	第 5 分 団 第 2 部	部 長	西原 辰徳
	第 1 2 分 団 上 名 部	部 長	梅園 修永
	第 3 分 団 自 動 車 部	班 長	内田 憲雄
	第 5 分 団 第 3 部	班 長	松下 誠
	第 7 分 団 第 3 部	班 長	中村 一徳
	第 1 1 分 団 1 号 車 部	班 長	片野坂 浩二
	第 1 3 分 団 下 名 部	班 長	新屋 幸秀
	第 1 3 分 団 餅 井 部	班 長	中村 雄二

	第 5 分 団 自 動 車 部	団 員	宗像 完治
	第 6 分 団 第 2 部	団 員	本川 亮二
	第 6 分 団 第 3 部	団 員	丸畑 康成
	第 6 分 団 第 3 部	団 員	富田 幹也
	第 1 2 分 団 上 名 部	団 員	小豆野 泉
<p>県消防協会 総裁表彰 精績章 (24名)</p>	第 3 分 団 自 動 車 部	部 長	益田 茂満
	第 9 分 団 2 号 車 部	部 長	軸藪 俊介
	第 3 分 団 第 3 部	班 長	原田 拓郎
	第 5 分 団 第 2 部	班 長	浦本 仁志
	第 7 分 団 第 2 部	班 長	吉田 隆司
	第 7 分 団 第 2 部	班 長	野崎 勝智
	第 9 分 団 1 号 車 部	班 長	神 智幸
	第 1 分 団 自 動 車 部	団 員	河末 信一郎
	第 1 分 団 自 動 車 部	団 員	江口 隆憲
	第 4 分 団 自 動 車 部	団 員	酒本 祐喜
	第 4 分 団 自 動 車 部	団 員	宮後 聖仁
	第 4 分 団 第 3 部	団 員	山内 慶太
	第 4 分 団 第 3 部	団 員	上山 修平
	第 5 分 団 自 動 車 部	団 員	八代 伸二
	第 6 分 団 第 2 部	団 員	金丸 伸一
	第 7 分 団 自 動 車 部	団 員	日迫 紀雄
	第 8 分 団 1 号 車 部	団 員	岩八重 智博
	第 8 分 団 2 号 車 部	団 員	石橋 和幸
	第 8 分 団 2 号 車 部	団 員	増本 博文
	第 1 1 分 団 1 号 車 部	団 員	永田 知也
第 1 1 分 団 1 号 車 部	団 員	川中 正人	
第 1 1 分 団 2 号 車 部	団 員	松田 剛	
第 1 3 分 団 下 名 部	団 員	近江園 壮	
第 1 3 分 団 餅 井 部	団 員	郡山 彰士	
	第 2 分 団 自 動 車 部	班 長	右田 勝広
	第 4 分 団 第 3 部	班 長	田中 伸幸
	団 本 部 女 性 部	団 員	前田 智子
	団 本 部 女 性 部	団 員	古賀 千代子
	団 本 部 女 性 部	団 員	原田 るみ
	団 本 部 女 性 部	団 員	山道 早苗

<p>県知事表彰 (10年勤続章) (24名)</p>	団本部女性部	団員	江口 佳世
	団本部女性部	団員	坂下 仁美
	第2分団自動車部	団員	山道 大輔
	第3分団自動車部	団員	中村 俊一郎
	第3分団第2部	団員	溝上 卓也
	第4分団第3部	団員	石元 智博
	第4分団第3部	団員	濱上 裕司
	第5分団第2部	団員	西 清孝
	第5分団第2部	団員	松本 真一
	第5分団第3部	団員	菴木 亮平
	第6分団自動車部	団員	竹内 伸哉
	第6分団自動車部	団員	富田 康平
	第8分団1号車部	団員	太田 真司
	第8分団2号車部	団員	黒崎 厚志
	第8分団2号車部	団員	武内 正輝
	第10分団1号車部	団員	田中 宏章
	第13分団下名部	団員	若松 真一
第13分団下名部	団員	山内 大樹	
<p>出水支部長表彰 永年勤続 (15年以上) (16名)</p>	第9分団2号車部	部長	金丸 嘉孝
	第3分団第3部	班長	山床 貴憲
	第4分団第3部	班長	外 秀樹
	第7分団自動車部	班長	上垣 大輔
	第9分団1号車部	班長	岩崎 泉
	第12分団青木部	班長	濱崎 勝次
	第1分団自動車部	団員	福本 安明
	第2分団自動車部	団員	小村 和幸
	第3分団自動車部	団員	表迫 卓也
	第4分団自動車部	団員	山崎 勝巳
	第4分団自動車部	団員	松田 健一
	第5分団第3部	団員	黒木 慎弥
	第6分団第2部	団員	田上 昭広
	第7分団自動車部	団員	大井園 聡
	第8分団1号車部	団員	岩井 信太郎
	第11分団2号車部	団員	特手 建磨

<p>出水支部長表彰 優良団員 (10年以上) (20名)</p>	第 5 分 団 自 動 車 部	団 員	長 島 利 紀
	第 1 分 団 自 動 車 部	団 員	宇 津 木 愛 生
	第 3 分 団 自 動 車 部	団 員	田 中 大 輔
	第 3 分 団 自 動 車 部	団 員	伊 藤 祐 弥
	第 3 分 団 第 3 部	団 員	山 内 隆 弘
	第 3 分 団 第 3 部	団 員	山 下 将 幸
	第 4 分 団 自 動 車 部	団 員	濱 上 泰 廣
	第 4 分 団 自 動 車 部	団 員	元 島 貴 臣
	第 6 分 団 自 動 車 部	団 員	吉 海 正 人
	第 6 分 団 第 3 部	団 員	岩 下 正 弘
	第 6 分 団 第 3 部	団 員	金 丸 博 文
	第 7 分 団 第 3 部	団 員	樋 渡 大 輔
	第 7 分 団 第 3 部	団 員	山 井 設 男
	第 9 分 団 2 号 車 部	団 員	大 城 勝 司
	第 9 分 団 2 号 車 部	団 員	肱 黒 裕 太
	第 1 0 分 団 2 号 車 部	団 員	長 友 太 介
	第 1 1 分 団 2 号 車 部	団 員	浦 崎 知 秋
	第 1 1 分 団 2 号 車 部	団 員	福 永 裕 樹
	第 1 1 分 団 2 号 車 部	団 員	大 島 康 資
第 1 3 分 団 餅 井 部	団 員	東 田 俊 介	
<p>市長表彰 特別協力者 夫婦表彰 (2名)</p>	第 1 1 分 団	分 団 長 尾 野 丈 志	尾 野 真 美
	第 1 0 分 団 2 号 車 部	団 員 尾 野 島 浩	尾 野 島 かな子

<p>団長表彰 優良団員 (19名)</p>	第 4 分 団 第 3 部	班	長	田中 伸幸
	第 2 分 団 自 動 車 部	班	長	右田 勝広
	第 2 分 団 自 動 車 部	団	員	山道 大輔
	第 3 分 団 自 動 車 部	団	員	中村 俊一郎
	第 4 分 団 第 3 部	団	員	石元 智博
	第 4 分 団 第 3 部	団	員	濱上 裕司
	第 5 分 団 第 2 部	団	員	西 清孝
	第 5 分 団 第 2 部	団	員	松本 真一
	第 5 分 団 第 3 部	団	員	菴木 亮平
	第 6 分 団 自 動 車 部	団	員	武内 信哉
	第 6 分 団 自 動 車 部	団	員	富田 康平
	第 6 分 団 第 3 部	団	員	岩下 正弘
	第 6 分 団 第 3 部	団	員	金丸 博文
	第 8 分 団 1 号 車 部	団	員	太田 真司
	第 8 分 団 2 号 車 部	団	員	黒崎 厚志
	第 8 分 団 2 号 車 部	団	員	武内 正輝
	第 1 0 分 団 1 号 車 部	団	員	田中 宏章
	第 1 3 分 団 下 名 部	団	員	若松 真一
	第 1 3 分 団 下 名 部	団	員	山内 大樹